（明治三十九年八月十日第三種郵便物認可）

京城日報

十六日夕刊

◎政友會の態度決す
十五日の臨時領首會議にて

政友會の第三十八次帝國議會に對する方針を決し併せて國民黨との提携交渉に對する回答案を定むべき臨時領袖會議は十五日午後六時より山本達雄氏邸に開かれ原總裁は先づ黨首會合の模樣より政府の開示せる對支政策に關する報告を爲し次で國民黨との提携交渉に對する回答案に就き諮る所あり討議大體方針を嚴正中立と決し唯議會に於て執るべき細密の手段は時々の協議に讓るべく其の意志は二十一日の大會に附議さるゝ宣言に於て發表し總裁之を敷衍して會員の嚮ふ所を暗示すべく國民黨へは此の範圍にて回答するに決し十一時三十分散會せり（東京特電）

◎首相會見後の三黨首談

△加藤憲政會總裁

十五日午前永田町官邸に於て寺内首相と會見したる憲政會總裁加藤子は憲政會幹部に左の如く語れり

余は寺内首相並に本野外相に會見し遂ら對支外交の顛末及び將來の方針に就て聽取する所ありたるが其内容は歷代内閣の外務大臣が執り來りたるものと相違なき點のみにして其の間何等新方針と認むべきものなく首相は此際如何なる目的を以て斯かる報告的説明を爲せるか其の意の存する所を知るに苦しむなり

△原政友會總裁

原政友會總裁は十五日夜山本總務邸に開かれし領袖會議にて左の報告をなしたり

政府の豫定にては當日三黨首同時に會同の筈なりしも加藤子の都合にて別々の會見となり余は犬養國民黨總理と共に寺内首相及び本野外相に會見せり政府は主として對支外交に關し大隈内閣以來の經過を報告し昨年末更めて開始したる交渉の顛末及び今後に對する方針を忌憚なく開示せり要するに最近帝國政府の執りたる態度は吾人の意を滿足せしむるものに非ざれども大體に於て吾人の意に近きものなり犬養氏の如きは我意を得たりと政府の方針を讃美し猶將來斯くの如き態度に出でなば支那の民心も和らぎ總て對支根本政策を遂行するに便あるべしと稱したり余も大體に於て犬養氏と同意見なるが黨議は諸君の意思に從ふより外なかるべし兎に角現内閣の對支方針は大隈内閣の失敗を挽回するに有力なるものあるべし歐洲戰亂に對しては具體的意見を聞かず政府と雖も今日遽かに決意し能はざるは一同の諒とせる所なり

△犬養國民黨總理

國民黨總理犬養氏は語りて曰く

今日は言明の自由を有せず然し乍ら極簡單に言へば大隈内閣と大に異なり支那四億の國民を目的とし飽迄至誠を披瀝して兩國の利益の發達を企圖するに努力し以つて日支親善の根本義を鮮明にし實現する事なり是れ實に我黨多年の宿望にして曾々符合したるものなれば現内閣の對支方針に對して全然同意するの微衷を禁ずる能はざるなり（東京特電）

◎露藏券二億引受交渉

日露兩國政府間には更に露國大藏證券二億圓引受けに關する交渉進行中なりと傳へらる（東京電報）

◎交通銀行借款假契約
日本銀行團より二千五百萬圓

交通銀行重役會は曹汝霖氏を同銀行臨時總裁に任命したり追つて株主總會に附議して其の承認を求むる筈なるが一方交通銀行と日本銀行團との間に二千五百萬圓借入れの假契約締結せられたり（北京特電）

興業銀行臺灣銀行及び朝鮮銀行と交通銀行との間に[illegible]五百萬圓の借款成立せりと傳へらる（北京電報）

◎孫氏邸滯在者の逮捕
孫氏は逮捕されず

孫洪伊氏逮捕の報道は事實相違あり本件は極めて秘密に附せられあるが最近の風評に依れば憲兵隊は近頃多數の注意人物北京に來著し孫洪伊氏邸に滯在すると聞き込み氏の邸宅に臨檢して右の素性怪しき人物八名を逮捕したるが是れ孫氏逮捕の風説傳はりたる所以なりと（北京特電）

◎蒙軍關係邦人に關し協定成る

蒙軍に關係せる日本浪人の取扱に就き支那政府より日本官憲に交渉協定の件に付張奉天督軍黒龍江兩督軍より征蒙司令官に對し以後蒙軍中に日本國旗又は日本人あるを發見するも一切顧慮疑惧する事なく進擊せよと命令せり（奉天特電）

◎ヒンデンブルグ元帥危篤

ヒンデンブルク參謀總長は目下危篤に瀕せり（倫敦電報）

△伯林來電によればヒンデンブルグ元帥病氣重態なりと（紐育電報）

◎露國上院の異動

露都來電＝官僚派なる前法相スチエグロヴイトフ氏は上院議長に任ぜられたり右の外上院議員に多數の異動ありしが其の多くは專制主義者を以て進歩派議員に代らしめしものなり（倫敦電報）

◎伊海軍の獨潜艇捕獲

伊太利海軍は獨逸潜水艇二隻を捕獲せり（紐育電報）

◎棉花市場恐慌

獨艦印度洋上に出現せりとの説傳はり棉花市場恐慌を起せり（東京電報）

◎長谷川總督 列席

長谷川總督は十六日午後六時より秋山軍司令官の招待に係る晩餐會に臨みたり

◎道長官會議（第二日）

臨時道長官會議第二日は前日に引き續き十六日午前九時三十分より總督府第二會議室に開會、各道長官は勿論長谷川總督、山縣政務總監以下各部長、官房、局長、所屬官署の長並に關係各課長等參列直ちに日程に入り午前午後に亙りて道長官の狀況報告あり午後三時閉會したり

◎荒井長官東上

度支部長官荒井賢太郎氏は不破事務官並に松島屬員を隨へ十六日午前八時三十分南大門驛發汽車にて東上の途に就けり同驛には官民多數の見送りありたり

◎第一部長學校視察

京畿道第一部長[illegible]一課長大山書記と共に十六日午前九時より市内各公立學校を視察することゝなり高等女學校幼稚園日出小學校、櫻井小學校、仁峴普通學校等の順序にて巡視を爲したるが尚ほ今後毎日午前中其他の公立各學校を視察すべしと

◎辭令

十三日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府判事從七位　金宅鉉
陞敍高等官六等
仁川公立高等女學校教諭　光石龜
陞敍高等官八等

◎石塚總裁發期

東拓總裁石塚英藏氏は十七日午後七時五十分南大門驛發汽車にて出發すべく清水參事隨行すべし

◎軍司令官張宴

秋山軍司令官は十六日午後六時より長谷川總督及び臨時各道長官會議の爲め入京中の各道長官を官邸に招待し晩餐會を催せしが主人側より白水參謀長外軍司令部各部長竹内高級副官等も亦參列せり尚山縣政務總監は事務多忙の爲め缺席せり

◎立花中將出發

立花中將は[illegible]列車にて參謀及び副官を隨へ平壤及び義州新義州駐屯守備隊初年兵敎育狀況視察のため出張せり

◎井上運輸本部長

陸軍運輸部本部長井上幾太郎少將は朝鮮視察の爲め二十七日入京二十八日及び二十九日滯京其後多分元山及び清津の支部を巡察すべしと

●龍山練兵場の取潰し
歩兵第七十九聯隊兵營の新營
＝漢江通り道路隣接地は市街地經營

朝鮮常設二個師團の完成計畫進捗に伴ひ大正六年度に於て現龍山練兵場は取潰されて殆んど全部

△兵營の敷地 并に市街宅地となる由なるが今其内容を聞くに兵營は南山を背後にし目下大田に本部を置く歩兵第七十九聯隊の全部を本年中に移轉收容するに相當の建築を行ふ筈にて完成と同時に同聯隊の第一大隊本部（大田）第一大隊第三第四の二個中隊（大田）水原の第一中隊公州の第二中隊并に第二大隊本部（春川）春川の第五中隊麟蹄の第六中隊金化の第七中隊利川の第八中隊及び第三大隊本部（忠州）尙州の第九中隊原州の第十中隊忠州の第十一中隊平昌の第十二中隊は全部を擧げて龍山に集中さるゝ譯なり而して其の隣接地には

△陸軍官舍 の若干も新營さるべし又一方兵營工事著手と同時に陸軍にては漢江通りの坦道に沿ふ現練兵場を道路より六十間丈けこれを總督府に讓渡し總督府は市街宅地として之れが貸下げを民間に行ふ事となる由に付岡崎町と兵器支廠間全く人家なき現在の區間は兵營及び商家の新築にて目下の寂寞を脱するに至るべし因に龍山練兵場に代る新練兵地は漢江鐵道線路に沿ふ廣漠の地をトし相當施設を加へらるべく觀兵式の如き陸軍儀式は漢江面にて擧行さるべし

△大田駐屯隊

大田に駐屯する歩兵第七十九聯隊本部は本年内に別項の如く龍山新兵營に引揚ぐる事となる由なるが其の引揚げと同時に大邱第八十聯隊の一個大隊大田に駐屯すべしと

●南鮮部隊の大邱集中
第八十聯隊の集團

駐剳軍にては軍隊敎育の關係上大邱兵營の一部完成せしを以て既報の如く歩兵第八十聯隊の南鮮各地に分遣守備隊を大邱に集中する事となり第八十聯隊第一大隊第三中隊（晉州）第二大隊第七中隊（全州）第八中隊（光州）第三大隊第十二中隊（釜山）の四個中隊を除く外全部一月五日屯營地出發十日迄大邱に引揚げたるが其隊長及び隊名は笹倉少佐の率ゆる第一大隊本部（順天）居昌の第一中隊南原の第二中隊順天の第四中隊並に伊藤少佐の指揮する第二大隊本部（光州）茂長の第五中隊海南の第六中隊并に第三大隊（大邱）に屬する安東の第十一中隊なり尙ほ光州は大隊本部のみ引揚げ中隊は前記の如く依然留まる譯なり

●滯貨又復增加
關釜間風波の爲め

鮮鐵各驛及び釜山等に於ける連絡貨物の停滯は其後漸く減退の狀勢を示しつゝありしも過般關釜間暴風雨の爲定期船及び臨時貨物船の缺航により荷捌又復澁滯を來し停滯貨物亦隨つて增加し昨十五日朝調査による總數量は二萬五千二百三十三噸にして之を本月十日の二萬二千七百三十二噸に對比すれば二千五百噸の增加を示せり今其停滯地別及行先を見るに左の如し

	下關以東行	九州下關行
釜山停滯	三、五四四	一、六六一
其他驛停滯	一五、七七三	一、四六一
輸送中	一、九二一	八七三
合計	二一、二三八	三、九九五

而して關釜間輸送力は從來通り下關以東行五百五十噸九州關門地方行三百噸合計八百五十噸にして鮮鐵の逆輸限は從來の通り本州行一日十車九州下關方面行一日十五車を當分繼續すべしと

◎朝鮮運輸聯合會

朝鮮運輸聯合會第十回定期總會を來る一月二十四日午後二時より龍山八景園に於て開會し左の事項の議決をなす由

一、大正五年度事業報告
一、大正五年度收支決算
一、大正六年度收支豫算
一、役員選擧

因に右總會出席者に對し鐵道局にては特に賃金五割引の特典を與ふべし

◎原田社長の東上

朝郵社長原田金之祐氏は日郵取締役として急用生じ東京より召電到達せしを以て十七日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上すべし

◎京城商議役員會

京城商業會議所は十六日午後二時半より役員會を開會したるが原田會頭以下各役員出席し大正六年度歲入出豫算同所の移轉等につき協議したる結果來る二十二日總會を開き附議することゝなり散會せり

◎釜山稅關鑑定價格

釜山稅關にては十六日より輸出品に對し左の通り鑑定價格を變更せり

△大豆大玉八圓六十錢△同中八圓十錢△同小[illegible]十錢△小豆上十圓〇五錢△同中八圓十錢△小麥七圓七十錢△在子[illegible]百斤に付七圓[illegible]△牛皮大中七十二圓△同小六十圓△小[illegible]△生牛一頭に付大三十五圓△同中二十[illegible]

【仁川】

△幼稚園開園式 仁川公立幼稚園にては十六日十時より開園式を擧行したり△穀物協會總會 仁川穀物協會にては十四五の兩日間大正四年十一月以降五年十二月末日迄に於ける營業成績調査の爲め同所樓上に於て役員會を開催したるが來る十七日は總會を開催利益配當其他に付き附議する處ある可しと

【釜山】

△金海水利起工式 慶尚南道金海郡大渚面水利組合は十五日午前十時より起工式を擧行せり該組合の灌漑面積は七百餘町歩なりと△驛長會議 大田以南の各驛長は十五日釜山草梁の鐵道俱樂部に驛長會を開き業務上の打合及び希望條項に就き協議を爲したりと△旅館組合新年會 釜山旅館組合は十四日午後六時より料亭鶴戶に新年宴會を催し釜山署相塲警部及び各新聞記者を招待し頗る盛會なりと△鈴木商店移轉 神戶鈴木商會釜山支店は業務擴張の爲め辨天町二丁目元周防銀行跡へ移轉したり△貨物臨時船入港 大阪商船會社臨時船日運丸は十四日午前神戶より入港米大豆等六千叺を積取十五日早朝木浦へ向ひ同地より阪神に向ふ筈又た釜山澤山商會の[illegible]義勇艦隊汽船ツエール號は十八日入港玄米二千噸を積載し二十日横濱へ直航の筈△穀物市場總會 釜山穀物市場にては十六日重役會を開き協議の結果來る二十三日株主總會を開くことに決定したりと△明太魚昂騰 正月に切迫したると産地出廻り悪しき爲め氣配至つて强氣にて上物二十九圓乃至二十八圓の高値なるも相應に取引あり△愛婦新年會 愛國婦人會釜山支部の新年名刺交換會は十四日午後一時半より府廳會議室に於て開催したるが出席員は四十餘名にして部長若松りう子代理若松府尹は同婦人會に對する希望其他有益なる講話ありて餘興に移り部山流尺八松の壽、春の曲、松竹梅、伊藤旭秋孃の筑前琵琶、重松中尉、茶臼山等の演奏あり配膳の後珍奇なる福引に一座興を催し午後四時散會したり

【鎮南浦】

△三銀行帳尻 朝鮮殖産三和の三銀行十二月末の帳尻は貸出金二百六萬圓預金七十八萬圓にして昨年末に比し前者は三十八萬圓後者は十四萬圓の增加なり△米穀の現在總高は十六萬七千二百叺にして內濱積のもの三萬二千八百餘叺他は銀行倉庫の在穀なるが全體の內譯は籾五萬五千玄米二萬七千大豆二萬六千白中白米一萬七千小麥一萬九千小豆八千八百雜穀一萬八千六百の振合なり△商議と豫算 商業會議所に於ては近く役員會及び評議員會を開催し六年度の豫算に付附議する所あるべしと

【平壤】

△商議豫算確定 平壤商業會議所六年度經費豫算は十二日午後一時開會の定時評議員會に附議したるが當日は內鮮四名の缺席あるのみにて種々討議の末、全部原案通り可決し即ち歲出入總額五千六百九十一圓なり次に共[illegible]會設立及び歲末景品附聯合大賣出の經過并に成績報告あり斯くて午後六時より審に於て新年宴會を催せり△牛疫發生後報 既報の如く十日平北熙川郡東倉面に牛疫發生せしが其後亦々同面に又復一頭の疫牛を出したるが即時撲殺したりと△平南公立諸學校 平安南道に於ける公立諸學校は內鮮人學校を合せて總て六十五校之れに道より補助を受けつゝある私立校三校を併せて生徒數審年十二月末に於ける調に依れば一八〇九三人にして公立小學校一六生徒二〇七二人實業專修學校二生徒百四高等女學校四〇生徒八〇二六實業學校五生徒三一九人私立校三生徒二五四人なりと△南筑會創立 平壤居住の南筑後出身の岩尾、井浦、河原三氏發起にて今回同郷人會を創立し南筑會と命名し去る十四日午後六時より喜樂に於て其第一回集會を催うせり來會者は五十餘名にて津村鮮銀支店長座長となりて規約を決議し次いで會長、幹事長各一名、幹事六名の選擧を行ひたるに會長には津村甚之助、幹事長には大庭米三郎氏當選し斯て酒宴に移り酒間久留米鎮座の水天宮御分靈を平壤に勸請祭祀すべく決定し分祠造營地は未定なれど解氷早々起工の筈にて右に關して近く幹事會を開くべし△司法官の出京 平壤覆審法院長島山虎也太氏同檢事正關口半氏は司法官會議列席の爲め一月十六日出京せり△奈良縣人會 平壤在住覆審法院細田書記長同大和町府協議會員森田奈良吉外數名の主唱者相謀り奈良縣人會を開催すべく準備中なりしが愈々來る十八日櫻町喜樂にて第一回の發會式を擧行すべしと

【清州】

△農業技手會議 忠北道にては來る二十四日より四日間道廳會議室にて管內各郡農業技手會議を開催し農作物種子改良普及の狀況並に本年度の獎勵實行計畫其他地主會特用作物畜産養蠶林産等獎勵事項に關する十五の諮問案を附議することゝなりたり△叺生産旺盛 年産額毎年十萬枚以上に達しつゝある清州郡産製叺業は地方農民の勤勉力行により逐年異常の大發展を來しつゝありて現に舊臘末より新年に亙り鳥致院兩市場にて約三萬に達すべく殊に郡廳の斡旋により郡副業獎勵業の引受に係る鐵道局納入土砂用叺七萬枚の納入等ありて本年内の生産總額十五萬以上に達すべく此金額約二萬圓に達するならんと盛況思ふに餘りありと云ふべし△新年祝宴 清州學校組合役員の發起になる清州在住民懇親新年宴は十六日午後七時より料亭ホヘトにて開催の筈にて出席申込者六十名に達し定めて盛會なるべし

謹告

本年中酒と棋を廢す

烏堂

◎大連より

△港内の解氷 兩三日來の暖氣に遭ひ一時結氷したる大連港内は十一日以來解氷し始め十二日は風向に由り小崗子海岸より流氷の港内に流れ込むもの盛なりしも十三日に至り之も止み只岸壁に流氷の一部を殘すのみにて全部解氷し船舶の著離自由となれり

△製糖の位置 南滿製糖會社の工場地に關しては同社技師來滿の上各地の狀況を調査したる上東京に於ける創立委員會の協議に附し決定せられたる所なるが今回常務取締役橋本貞夫氏來滿し工場地を奉天附屬地内と確定滿鐵會社と打合の上數萬坪の土地を借受くることゝなりたる由にて近く假事務所を設け工場建設事務を開始する筈にて解氷と同時に工事に著手さるべし

人事消息

△秋田格太郎氏（光州地方法院檢事正）十六日夜入京天眞樓へ

△鶴田錫彦氏（光州地方法院判事）△佐々木濱之進氏（海州地方法院判事）△稲澤佐五郎氏（大邱地方法院判事）△三井十三二氏（平壤覆審法院檢事）十六日夜入京不知火に投宿の筈

△宮川[illegible]三郎氏（平壤電氣會社長）同上龍尾に投宿の筈

△兩角操氏（公州地方法院檢事）△大塚升氏（公州地方法院判事）山縣大人の訃に接して入京同氏宅へ[illegible]

△伊東全[illegible]（[illegible]）十六日朝[illegible]

△荒井賢太郎氏（度支部長官）十六日朝發東上の筈

△原田朝郵社長 十七日朝南大門驛發東上の筈

△松本[illegible]氏（[illegible]）十六日夜木浦より[illegible]京

△[illegible]氏（[illegible]）十四日[illegible]

△物[illegible]河原健之助氏（[illegible]地方法院判事）△鶴[illegible]友弼氏（[illegible]地方法院檢事）△赤井[illegible]義氏（海州地方法院檢事）△杉村逸樓氏（大邱覆審法院檢事）十六日夜入京天眞樓に投宿の筈

△[illegible]三氏（大倉組技師）同上

■飛行機燒討の刹那―倫敦にて實寫―

◎燃え落ちる飛行機を 平氣で寫眞に撮つてる倫敦兒

英國人がツエッペリン飛行船のお見舞を怖れる事は豫想以外であつて戰爭には

▼平氣な顔 をして居る倫敦人もツエッペリンと云へば頸を縮めて泣れ泣く子も默まると云ふ程です昨年九月には十數回獨逸のツエッペリンが倫敦の空をお見舞ひして大分倫敦つ子の荒肝を取挫いだ而し飛行船の方も數回燒打を受けて敵ながらも酸鼻極まる最後を遂げた飛行船の犧牲は多く

▼夜を以て 行はれる而もドーバー海峽を始め其他各所には英國の見張が晝夜間斷なく目を睜つて居るから飛行船の襲來は直ちに之等見張所から倫敦に報告されるさうすると市中は一切に燈火を滅して目標を避け一方陸軍飛行隊にては直ちに邀撃の爲め多數の飛行機を飛揚せしめるんに

▼探照燈を 以て空中を探照して飛行船の所在地點を味方の飛行機に知らせると飛行機は其の迷力を利用して飛行船よりも遙かに高空に飛揚し上空より飛行船に向つて燒火彈を擲げ下して之れを攻撃する幾條もの探照燈が閃々と物凄く電光の綾を成す空中に敵味方の飛行機船

▲入亂れて 戰ふ樣は實に凄絶壯絶の光景です斯んな場合には皆な恐ろしい事も忘れて吾も〳〵と暗の街上に飛出して壯烈なる空中戰見物をするのです其處でも茲でも寫眞を撮つて居ると云ふ賑かさです其の內に味方の擲げた爆彈で飛行船は花火のやうな美しい火光を空中に引いて機體と

▼人と共に 燃ねながら落ちて來る飛行船から投じた爆彈も街上に炸裂して多數の死傷者を出す殘つた敵は逃げるそれを味方の飛行機が追撃すると云ふので却々の大騷ぎです兎に角恐ろしいツエッペリンを打落すと云ふ事は鬼の首を取つた以上に倫敦ツ子の限りなき誇りであります（岩田仙宗氏談、寫眞は同氏の所持に係る）

◎荷主が安心の息を吐た 暖かくなつて仁川港外數十の檣頭

猛烈な寒氣の爲めに仁川港內外は流氷と結氷と氷山に各方面の航路が杜絶した事は既報の通りであるが此れが爲めに仁川に於ける米穀市場及び鮮炭界鮮人用雜貨客主商船舶會社等の各方面では

◇手嚴しい影響 を蒙つてゐる米穀は仁川に在庫品が豐富であるから奥地や沿海方面から廻著入津が當分杜絶しても市場を動搖せしめる樣な事は無く寧ろ滯貨及び相場の調節上好影響を受けて居るらしいが地方農民は舊正を控へて居る事とて斯んな狀態が永續する樣な場合にでもなると放賣は望み無く年末決濟は出來ず、經濟的壓迫は

◇忽ち頭上に墜ち て來るに相違ない、然して其の反動は直ちに仁川の一般市況に現はれて舊正準備の諸雜貨の賣行きに影響する、現に地方の地主や米穀商は籾の輸送と共に來仁して其の到著を待つて居たにも拘らず稀有の嚴寒と流氷に妨げられて徒苒と時日を經過した許りで無く、數日前多くは米の買込みもせず雜貨の注文も行はずして空しく歸つた樣な始末で

◇舊正前の地方人 の來仁を當込みの向きは十二三日來の溫暖が續くか續かぬかは吾々の死活問題だと迄言つて居る、それから今度の寒氣が齎らした影響の中で一番市民を驚かしたのは木炭の缺乏である、四五日前迄は三十五六錢の俵が一躍六十五錢に奔騰する、十三日の在荷は殆んど千俵內外に過ぎぬからあと四五日中には炭庫は空になるなど、

◇店頭でも湯屋で も床屋でも取沙汰されて居ると言ふ具合で炭の代用に煉炭の需要が熾んになりつゝ有る然し、二三日來の暖氣で氷も大分解けたし流氷も衰へたから本場の海州方面からの入津も近日中にある可く未曾有の暴騰に乘じて鐵道輸送に依つて仕向ける者もあらうから法外の高値も此處二三日中に過ぎぬと觀測されて居る以上の如く

◇籾と謂ひ薪と謂ひ何れも流氷結氷の爲に舟運の便が杜絶したからで其の影響も甚しいと言ふ處迄は行かぬが船の所有主に取つては此れ全く氷詰めの責苦に逢つたと同然で其の損害の程度は莫大の額に達して居る仁川港內に於て荷役が出來ずに空しく數日を碇泊して居る汽船や流氷に進退の自由を喪ひつゝ有る貨況については詳細に報じたが此外にも

◇港外に避難して 居る船は數十艘に達して居る事が發見された程で此等數百艘の荷船や幾多かの汽船が米穀の出盛期に際して悉く封鎖されて了つた損害は幾十萬圓に達するが天災とは言へ實に慟けた話で大阪商船などは厰州湖南等の出航が數日遲れた許りでも一二萬の損害だと言つて居たが十四日來の暖氣に皆ホツト息をついた（仁川）

◎騎兵聯隊雪中行軍

羅南騎兵第二十七聯隊は土屋聯隊長以下下士卒七十名耐寒行軍として十五日會寧に向へるが豆滿江上を演習しつゝ下り雄基に出で歸營せり（淸津特電）

◎銀行員娼妓を落籍して

京城黃金町三丁目居住長崎市丸山町生れの神門勝一郎（三七）は長崎高等商業學校卒業後大正四年四月より株式會社十八銀行本店に勤務し同年九月より京城の支店書記として勤務中其の取扱ひに係る日本生命保險株式會社代理店の保險料取立等に從業中大正五年二月より同九月迄の間に其の保證金一千五百七十餘圓を橫領して遊興費又は新町遊廓常盤樓抱娼妓鶴木あさ（二二）を落籍する費用等に悉く消費したる爲め遂に檢擧せられ京城地方法院にて豫審取調べを終結して此程公判に附せられたり

◎米艦坐礁 濃霧のためか

十五日發のユーレカ來電に依れば米國巡洋艦ミルワウキー號（九七〇〇噸）は濃霧の爲めか坐礁したり多分全く沈沒し終るべし（倫敦電報）

◎咽喉を目掛て滅多斬り

京仁線素砂驛若大里金貸業森住三郎（四八）同妻りゆ（三〇）は十四日午後十時一鮮人の爲に滅多切りにされ目下同人共仁川病院に入院加療中なるが

▲詳細を聞く に加害者は富川郡多米面士忠里具福鎭（三〇）と言ふ浮浪者にて同人は二年前森から五十錢の借金をなし今日迄債務を果さざりしに去十二日夜森方に至り友人の依頼を受けたれば是非三圓貸し呉れる樣にと懇請したるも森は『賭博でもする爲めに借りに來たんだらう』と言ひ樣頰を眼蒐けて二ツ三ツ續け樣に毆りつけたるより具福鎭は大いに憤つて、何事か凄文句を捨詞に其日は其の儘立別れたるが十四日午後十時頃森夫妻が就寢後再び來つて『金を返しに來たから戶を明けて吳れ』と呼ばはつて

▲寢所に入り 來ると共に懷中より二十五錢取り出して此の金を返濟するから七十五錢出して一圓程貸して吳れと言ひたるより森は嚇となつて返金もせずに此の上金を貸せとは餘りに厚顔しと就床のまゝ怒鳴り立つれば具福鎭は突然隱し持ちたる小刀を右手に咽喉を望んで滅多矢鱈に切り立てたれば妻のりゆは大いに驚き夢中になりて逃げ出す具福鎭に追ひ縋り戶外の雪を散らして格鬪する裡に大小十箇所の手傷を負ひ鮮血は白雪を染めて物凄く悲鳴は寒野に渡りたるも誰一人として救ふ者なきより森は苦痛を堪へて戶外に走り出で格鬪中の具福鎭に

▲獅噛みつき 妻を助けんとすればりゆは逸早く兇漢の手より遁れて隣家某を叩き起し救ひを求めたれ此時具福鎭は森の咽喉部を柘榴の如く切り虐み居たるが人々の馳せ來る音を聞きつけるや否や身を飜して逃亡し何れにか潛伏したるが一方森は腹部咽喉部手首等に大小八箇所及び無數の擦過傷を負ひりゆは面部に十餘箇所の傷を負ひ再び立つ事も能はざりしも隣家の人に運ばれて十五日午後一時四十分仁川病院に入院したり經過は森は危篤りゆは生命に別條無かる可きも面會は一切謝絕し居れり犯人は十六日中には逮捕さる可き見込（仁川）

◎妻を誘拐されて

京畿道揚州郡和道面東山里金伯鳳（三二）は昨年十月八日同里安妙福の妻趙小孥（四一）が自己の妻金姓女（一七）を附近の山中に誘致して尹龍突（二三）と密通せしめたることを聞知し小孥を自己の從兄なる同里金先堂方に拉し行き叱責したる上頭部を強打して硬腦膜を破りて遂に死に至らしめたる爲め檢擧せられ京城地方法院豫審にて取調べの上公判に附せられたり

◇農民が採鑛に

江原道洪川郡道寬里及び掛石里地方に金鑛發見さるゝや目下同地方にて各種の營業をなさんと徘徊する內鮮人一千人以上に達し爲めに其の鑛石を搗き碎く水車小屋各所に設けられて既に廿六箇所ありて水車業者は一臺にて一箇月約七十圓乃至九十圓の收入ありと併し昨今結氷期に際し事業不可能となり居れるが其他飮食店營業者の如きは一日に約十六七圓の賣揚高あり內地式の饅頭の如きは一軒にて一箇月九十圓以上の賣行きあり雜貨類も頗る好況を呈し附近農民も採掘に從事し一日四十錢內外の收入ありと

◎鮮刀にて滅多切

今十五日拂曉平安南道大同郡林原面農金泰善（三八）は同面農梁逆源（一三）を鮮刀を以て滅多切りに切付け遂に即死せしめ加害者は現場を逃走行先不明なり加害の原因不明詳細は後報すべし

◎海軍飛行機の轉覆

十六日午前九時二十七分追濱海軍飛行場に於てフ式イの第十二號機を操縱の臼井三等水兵を同乘せしめたる今村中尉は滑走離水の際機體顚覆沈沒し同中尉は海軍病院に收容の途中絕命したり（東京特電）

◎西海の腰 栃木の前に脆さ 憐むべし鈍州大響

―四日目の取口評―

四日目は初日以來曾て無き好取組多く兩軍の接戰振りの目覺しさ二個の星を東軍に奪はれたるは西方に取つては無念ならんも是にて兩軍伯仲し來れるは面白し

◇駒泉の琴ケ浦を叩き込たるは旨く註文に嵌りたる也敵の出鼻を輕く交して續け樣に引叩きたるは組んで步の惡き大兵の琴を向ふに廻して突張の連發と共に當然採るべき策戰、琴の不用ウマ〳〵と術中に陷りたる、琴の不意は病後とは言へ、餘りに狼狽て過ぎたるらし

◇千葉ケ崎に宇都宮の一番は凪栃木以上に興味を惹きたる取組、突いても組んでも千葉のものとは思はれたるが、敵は名にし負ふ墓將軍、上突張り咽喉輪攻めの飛道具を備へ豪放不羈を以て自ら任ずる宇都の事なれば、勝敗如何と思はれしに、千葉の元氣、得意の左差しに苦も無く敵を仕止め了んぬ

◇相手構はず何んでも吊つてのけんとする、榮ちゃん浦の濱の一本調子には困つたもの也、業師を以て聞わたる兩國を吊らんと焦るを待つてましたとばかり、上手投に引かゝる阿呆の骨頂といふべし大きく見せるばかりが本場所の角力の能で無き以上連日の敗跡に鑑みて反省、反省

黒瀬川

◇源氏山の伊勢の濱に押切られ、一溜りも無く土俵を割れるに比して太刀の突張りを凝して立直つたる九州山の元氣は買ふべし、然かも得意の右を差しながら同じく右差の猛襲を支へ得ず、土俵に堪へる隙も無く、突放されたるは是非も無し、さるにても一旦奪ひ返した東方の榮譽を死しても渡さじと病を押して陣頭に勇を振ふ太刀の意氣、栃木も大錦も齒は立つまじ

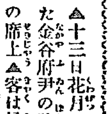
◇鈍州大蛇潟改め大響の弱冠宮城叢のために可惜星を渡したる多愛もなさ、門に絞れる敵の差手を解くを得たりと突き放されての鈍馬さ加減呪ふべきは大器晩成』

◇鳳に栃木は本社がその勝負の豫想に賞を懸けしもの、初顏合せ以來二場所續いて鳳の敗れし角力なり、立ち上りさま疾風の如く左を當てゝ栃木を押へつけ、例の小手投を打つと見せての引落しは技が術にシテ遣られたるものと見るべし、是れ腰の弱いに反面に前に脆い栃木の缺點を暴露したるもの也

◇西の海の黒瀬川に敗れたるは敢へて番狂せとのみ聞ふべからず、立合ひに黒瀬の突きをイナしたるが抑もの敗因、長大の黒瀬が猛烈に寄るを受け切れず土俵を割りしは二日目眞砂石との立合と併せて西の腰の弱きを語るもの、角力は稽古が肝要

◎『悲慘なる一家へ』

本紙十四日夕刊第三面所載『悲慘なる一家』に同情の餘り日本醬油會社出張所員臼倉芳三郎氏は金五圓を本社を通じて同家へ贈付方申出でありたり



▲十三日花月で開いた金谷府尹の晩餐會の席上▲客は松永長官を始め有賀、時永の兩課長並に道府の各事務官及び民間の有志等四十餘名▲一は入澤部長の歡迎と今一つには總督府に轉任した有賀時永の兩課長を送別し併せて官民の和親を計りたいと云ふ趣旨▲開宴前金谷府尹から今夕は別に御馳走と云ふ程のものはないが十數名の婆藝妓及び長髮族を酒間に配したれば充分の歡を盡されたしとの挨拶がある▲すると來賓を代表して松永道長官が立て御馳走も婆族、長髮族のお招きもありがたいが▲一體宴會の席とし云へば愈々是から佳境に入らうと云ふ段になると婆族や長髮族共が『ピンヘットサンライス』出して追立てる▲願くは今晩丈は只今御主人の御挨拶に甘へ裕り腰を占めて頂戴したいから『ピンヘットサンライス』は封じて欲しいとの注文▲所が曾我勉君が松永長官はどうも東亞煙草とお笑しいピンヘットやサンライスを禁じて朝日大和を賣擴めようとするのであらうと云ふと▲馬詰君が又立つて松永氏のために辨ずべしとて曾我氏の妄を難じたが▲結局牧山君が立つて本席には警務部長隈部大佐も同席され居れば松永長官對東亞煙草との間に何等密約なきことは明なりと水を入れたので▲遂に花を咲せて居た座興も平和克復し配盃春に賑つたさうな

◉電車に觸る 十三日午前九時頃京城電氣株式會社の五十八號電車が往十里より光熙門に[illegible]進行中[illegible]電車に觸れたるも生命には異狀なかりしが往十里憲兵出張所より憲兵出張し同人を往十里の醫師に[illegible]

[illegible]五回入獄したる曲者なるが十二月三十日午後八時頃折柄年末の混雜に取紛れ本町一丁目某時計店前にて見物[illegible]圓餘を足袋の內に隱したるを取押へられ本町署にて取調べの上檢事局[illegible]

◉連絡船上陸客 十四日午後
一等（四名）永野綱次郎、和田牧藏、杉田六藏、初宗瀬
二等（三十二名）宮村岡太郎、同かつ、吉見眞[illegible]

■課題
（讀者文藝）課題及募集規定
[illegible]
■募集規程 ▲原紙は端書又は同形の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈賞は一週間[illegible]

天氣 曇り但少雨
▲一月十七日（十六日午後六時より十七日午後六時迄）

日出	七時	四十七分
日沒	五時	四十一分
仁川滿潮	午前十一時	三十一分
仁川滿潮	午後十一時	四十四分
乾潮	午後四時	四十三分

謹告

豫て撫順炭輸送意の如く無之貨車廻はりの不足勝より常に品拂底のみ來し申譯次第も無之恐縮の至りに存居候折柄不幸にも去る十一日大山炭坑爆發の椿事有之乍遺憾も又々本日より左記價格に改正の止むなき成行と相成候就ては今後出來得る限り速に前値に復舊の樣可仕候に付何卒事情不惡御諒察被下當分の間御辛抱被成下度偏に奉願上候

右不取敢謹告仕候也

一、撫順塊炭　半噸以上（持込）　壹噸に付　金拾參圓七拾錢
一、同小賣壹叺以上六叺迄（持込）　壹叺に付　金壹圓貳拾錢
一、撫順切込炭　半噸以上（持込）　壹噸に付　金拾貳圓七拾錢

大正六年一月十六日

南滿洲鐵道株式會社
撫順炭販賣業者一同

新荷着
（獵銃、獵具、火藥、散彈、其他全備）
橫濱市本町
合資會社 金丸銃砲店
（獵銃定價表郵呈）
電話一五五番及六五三番 振替口座東京四七一番

謹告
大阪朝日新聞讀者各位へ

町田新聞店にて京城、龍山、仁川に於いて多年大阪朝日新聞を販賣し來り候處今般同店と圓滿なる相談を遂け右三地に於ける同店扱ひの大阪朝日新聞全部を左記販賣所に引繼き一月十七日（十八日付發行新聞）より各販賣所より配達爲致候事に決定いたし候間此段右各地町田新聞店扱ひの大阪朝日新聞讀者各位に謹告候也

大阪朝日新聞販賣課

今般京城、仁川、龍山に於いて町田新聞店より配達し來りたる大阪朝日新聞を其儘當所に於いて引繼き十七日より當所より配達申上候間引繼早々の際萬一配達洩れも有之候はゞ乍御手數左記へ御申込被下度併せて將來の御引立を願上度此段奉謹告候也

大阪朝日新聞京城販賣所　南大門通り二丁目三六番地 大阪朝日通信社部內（電話三九七番）
同　龍山販賣所　龍山驛前旭屋（電話七二三番）
同　仁川販賣所　仁川宮町三丁目（電話七六番）

實用英語夜學會
會員募集
一月十六日より每週月、火、木、金午後七時半開始
▲會場　旭町二丁目日本メソヂスト教會內
▲事務所　旭町二丁目三十六番地電話二五六五番

……姓女(…)といふ……路を横斷せんとしたるより直ちに運轉を中止せんとしたるも幾分の惰力……居留島縣安藝郡海田市町生れの洗濯職立石寅一(三十)は窃盜罪に依り前後……町二丁目尾崎方……市を窃取せんとして果さず尙同日本町二丁目及び三丁目にて外二名の内地人より財布を掏り取り其の金員一……

新浪漫派がわかるのは
日本人だけた景園學の大講演

泰西の景園は――私は茲に景園なる新熟語を用ゐる――既に四五千年前の埃及にあつた、ピラミツトを有ち椰子の林を有し廣い地平線を劃した埃及の天地は茲に突飛な怪異な景園を生み線ばかりを用ふる

▽セセツシヨン式を生むだ、希臘では土地秀麗なるを以て自然の美を認めたけれ共猶多く人性の美を採つた、東西の藝術が渾然融合したのは羅馬の時代である、併して異常に自然といふものを味うたのは十字軍の時代である、其の後十九世紀になつて『自然に歸れ』といふ聲がやかましくなり景園も野外の景色そのまゝのものを用ゐるやうになつたが最近自然派にローマン派を合した

▽ネオロオマン派といふものが暗示された併しこれは標榜ものであるか實例を示したものがない――これを完成し理解し得るものは我日本人より他にはないのである朝鮮の景園は歷史的に支那の模倣に始まり而して支那の模倣に終つてゐる猶ほ何處までも溫突式であるといへる且つ材料は主として岩石的で非植物的である、猶ほ植物も花木本位で葉を貴ばぬ――これは

▽日本趣味と大差の處で花も自然でなく園藝的である、朝鮮の庭に石材を用ゐるとは何處にもお定りのやうになつてゐて、例へば瀧にも池にも腰掛けにも丘にも傾斜面にも植木鉢にもすべて石ならぬはないのである、併も人工的の研石ばかりを用ゐてゐる、其の表現法はまづ自然の寫實といはんよりも寧ろ理想化したものに傳說信仰を附加したものゝやうである、沿革は文獻の徵すべきものなれど

▽遠き三國時代には百濟の王が地を穿ち山を造つたといふ記錄がある、武王の時唐から牡丹の花が移された記錄もある、その他武王の三十五年三月には宮南に池を穿ち二十五里の遠方から水を引いて潴へたといふともあるから全く支那に倣うたのであらう、後ち新羅時代には唐の藝術を崇拜して先ふのをそのまゝ直寫した跡があるが此の當時の石燈籠は

▽實に立派なもので ある、日本には春日の柚木形といふのがあるが恐らくこれから來たものであらう、後ち日本の庭に石燈籠を用ゐたのは或る天才のやつたことで これは永久に日本の庭園の誇りであらう、今でも新羅の舊都慶州には天柱の下に當時の庭池があるといふとだが猶ほ慶州附近の鮑石亭では曲水の宴を開いた記錄もある、其の後高麗に至つては

▽主都開城の庭園が出來たが滿月臺の丘陵では結構壯大でなかつたことは推測される、殊に顯宗は宮中に於ける一切の園遊を廢した位ゐで後ち毅宗に至つて盛んに造園的の設備をしたものである、下つて近く朝鮮時代に至つては何等新機軸なくつまらぬものと成り了つた而して一般に庭園といふものが家の背後に位置することゝなつて後園となつたのであるこれは

▽朝鮮の建物が溫突または樓から見るので平地では眼の位置が高過ぎる爲め從つて後方の傾斜面に段を造り庭園としたのであらう、併し別莊の庭だけはやゝ自然の景をとり入れてゐる、更に宮中の庭園としては昌德宮の秘苑が朝鮮随一のものである、あれは全くの支那式でもなく巧みに自然の地形を利用して林間には朝鮮

▽特有の樓亭を建てゝには池を穿つてゐる、これは朝鮮式の特色であつて水原の訪花隨柳亭などもその一つであるが平壤の練光亭の如きもあの前に是非池がなければならぬ私が道廳平壤府廳で調べた三百年前の朝鮮畵流の風俗畵を見ると今の電話交換局あたりに池があつた、風月池の跡は今にも遺つてゐる――あれは是非

▽復活させたいもの である、要するに朝鮮の造園は理想的ではあるが一面また自然的で彼の西洋の如く幾何學的な人工的のものとも趣きが異ふやうである

十五日日出小學校にて林學士田村剛氏談話

讀者文藝 (一等には五十錢の圖書券を呈す)

▽川柳「餅」

○儀式だけ喰つたと上戸振れ廻り(一等)　全南長興　三木南山坊
▲餅搗いた晩は寢るのに苦心をし　釜山　めじろ生
▲腸取は無念の餅を皮でつき　龍山　岡本小五子
▲貸餅屋搗く日になると威張り出し　京城　玉山
▲花餅の作法にあまる雜煮餅　忠南　靑山生
▲餅米の小賣米屋は聞き始め　京城　長谷川うつ
▲食客かりそめの餅好きさなり　元山　内山浩思

●水產講習船 高志丸の入港

富山縣水產講習所練習帆船高志丸(一九六噸餘)は一月九日咸南西湖津港に入港したり同船は船長藤原德三水產技手興儀宣以下練習生十名乘組み今般咸鏡南北兩道の沿岸の漁況調査を目的として來航したる由にて淸津六臺、遮湖、退潮灣各沿岸附近の漁況を調査し適當なる場所を認めたる上縣に於て補助金を與へ漁民を移住し漁業に從事せしむる計畫の趣にて實地調査を兼ね練習生の見學の爲め同港に寄港したるものなりと

◎古物商の新年宴會

京城古物商組合の總會は十五日午後二時より開會、會場は明治町說教會館の二階五十疊敷に充滿の來會者、『古物賣買帳には此の際至急要用の檢印をうけられたし』といふやうな貼紙から役員選擧の文字などが見ゐる、組長入木權十郎氏、副組長森本吉助氏の挨拶から今年の役員の選擧が始まると三百餘人の會員は拍手して迎へる、開票の結果は去年の通りこれに十名の評議員が當選した、組長氏曰く京城で古物商組合ほど盛んな會は見當りませぬ、會費は一箇月十錢宛を徵集し會員の不幸には吊慰金を贈つてゐるが純收入七百九十八圓九十八錢に總支出五百十三圓三十二錢二百八十五圓六十八錢が繰越高であるそれから御大禮の提灯行列には百六圓ばかりを支出して全員で盛んにやりました、目下會員の總數は三百二十七名、昨年に比較すると百二十名ばかり增加しました、街はどうしても黃金町が首位に居ります

◎黃州自動車開始

京義線黃州郡齋安面中村子之八經營に係る黃州驛及び黃州邑內間乘合自働車は一日往復四十回の豫定を以て近日より開始すべしと

◎鳴戶の主人逝く

釜山の料理店鳴戶の主人鳴戶捨松氏は久しく中風症に罹り療養中の處遂に十四日午後死したり同人は十數年前單身釜山に來り苦心努力の末年日尙少の成功を收めたりし而已ならず素人淨瑠璃界にて鳴戶太夫として斯界の名評を博し居たり

神社とお寺と教會

○曹洞宗別院(若草町)　十七日午後二時より觀音講尙ほ十八日正午より婦人會初會ありて餘興に福引あり
○妙心寺(長沙洞)　十七日午後一時より觀音講及び御詠歌の說教あり
○成身院(旭町二)　十七日正午より觀世音菩提祈緣日に付 詠歌動行尙同婦人會の新年會ある由
○曹谿寺(大和町三)　にては十七日午後一時より初觀音普門會供養並に御詠歌講話等あり

十五日午前九時釜山入港新羅丸一二等(三名)……二等(十名)岡田篤二、日倉放雅、佐藤良助、村澤瀬一、大藤翻一、小林鎭太郎、井上しよ、奧田しけ、奧田孫助、大島甚吾、三等(三十一名)……生、岡田篤三、山邊一郎、村井賢藏、小林和吉、向しげ、安室學、安昭正一郎、平山ふみ、山本俊平、同まき、三木資治、石倉新作、堀切德太郎、兒島吉太郎、芹川均一、由岡覺治郎、三等(一百六十二名)

商況

公債直取引(東京特電)
十六日出來値
甲五分特別　八二・三〇
五分津發　八三・三〇
一回四分
二回四分
五分

債券現物特電(東京)
十六日　東洋拓殖　京城電氣　朝鮮銀行　朝鮮瓦斯　南滿鐵道

深川在米特電
十五日現在高
朝鮮米　一〇八、六一五
臺灣米　七五、四三三
内地米　一、五四一、六八七

東京期米特電
十六日前場　三月限
寄付　一七、二七
高値　一七、三〇
安値　一七、二〇
止め　一七、三〇
後場

大阪期米特電
十六日前場
寄付
高値
安値
止め

下關期米特電
十六日前場　小雨正米凭れ見越
當限寄付　一六、五七　中限　先限

雜報

●綿布は不味
頃日來米相場は概して高氣配なりしに株式安の影響は遂に綿糸綿布を惡化せしめ十五日は龍シー現物會社相場の六圓二十二錢五厘に對し市中相場は四六物の六圓二十二錢を唱へ……先行き面白からざるものあり當地は目下在品拂底の爲め各種共手堅く相場を持合へるが問屋側の新規約定は……

躊躇の姿
何れも十月以降のミー一百七十二圓……の百七十圓といふ處が通り値となり居れり

弱走傾向

●皮革類の其後
皮革類は米國革の暴騰と內地皮革界の好氣配なる受けて……値上り程度は持品の關係上內地市場に於ける程烈しからざりしも其後……

方面より相當高き指値
……の如きは哈爾賓、大連

注文入來
……相場と不均衡の安値に手放すの……下の力持ちに終るの……

一圓二十錢賣
頃日來一圓以上に賣捌せしキッドの如き……

敢行
……

クス類
之又多少上値は避け難かるべし

●鐵板類一割高
……

約十圓方昇
鐵板類は……

内外の引上
……

●土管產地狀況
……

永登浦の土管工場
十一月以來製造を休み……

常滑產
……

十萬の大注文を受けて
先般歐州輸出の……

多忙を極む
……

約二割位高

●洋藥類一部小變
去年二月來曾有の高値を示し世間を驚かしたる洋藥類は五月より下向き初めて秋冬の頃平靜に復したるまゝ越年して初春以來又遂しき變化なきが一部の品下落を示したる外概して持合の姿なり就中

下落を惱し酸類は幾分

重曹は品逼迫に

サツカリン
市中在荷乏し

●柳行李氣丈
本品は……年度の原料杞の作柄歉收……

●鮮人向雜貨好況
舊正月に迫りて鮮人向き諸雜貨の附屬品化粧品文具等は既に……

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店
海岸町三丁目　電話三〇九番長九一二番

仁川米豆取引所仲買人 仲買店
電話　一二八番　二八三番

●蜜柑と林檎梨
……

下關相場
▲朝鮮米(氣重)……
▲大豆(商況認……)

仁川期米
▲十六日前場
大阪天候晴天
前寄十六圓五十七錢と昨止より十八錢安
……

生魚市場
……

平 千三商店
期米　仁川米豆取引所仲買人
電話(ヒ)一五九番

仁川現物市場
……

釜山市場
……

京城正米
……

南大門の廻穀
……

市場雲間
▲依然下げ澁る
……

▲前場の手振
……

▲大に買ふ
……

▲大に賣る
……

▲言續て賣る
……

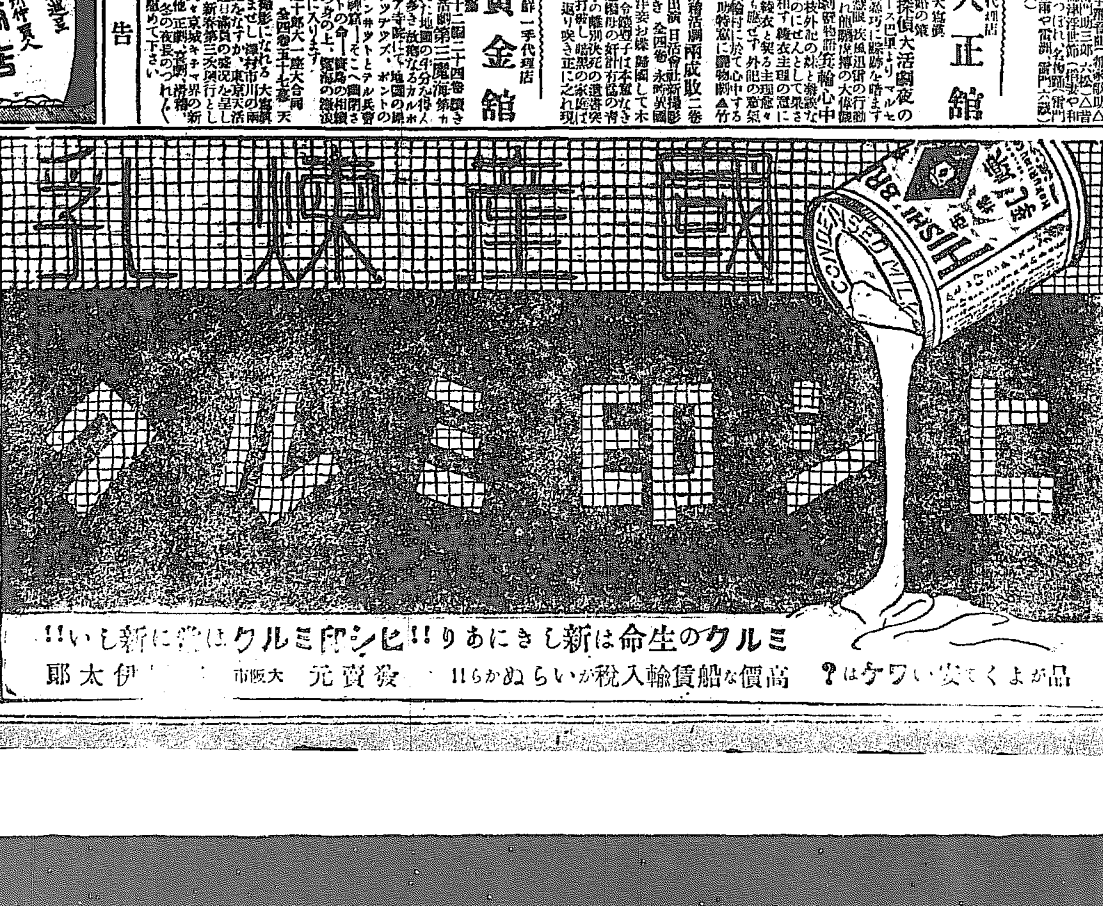
▲結局保合
……

仁川米豆取引所
十六日の三月限
……

期米 曾我商店
大阪堂島米穀取引所仲買人

演藝案內

京城壽町　壽座　電話五七八番　一月十七日替り藝題
御成町　御成座　電話二九一
本町五丁目　稻荷座
明治町　浪花館　電話二六〇
櫻井町　大正館　電話八七三
黃金館　早川直營　電話二六三七



榮養ヲ增進シ 精力ヲ旺盛ニス
グリコナール錠
本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪、越幾斯分ノ適量ヲ含有ス
一般虛弱、心臟機能衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者等濃厚滋養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ體力ヲ增加ス
東京室町 三共株式會社

特約店 平壤 桑田支店

內科 小兒科
京城日出小學校前 多々見醫院 入院隨意 電話六四〇番

診察時間 自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院 電話八二二番

通告者には五十錢書籍券を呈す ▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係
△下旬付「大あくび」 △…… △街語「……」 △川柳「鳥」

明君道中記

第三十一席　田邊南龍口演

昨前回に申し上げましたが、竹千代君は元和六年九月御元服遊ばして從二位大納言家光と申し上げましたが此時に何者が云つたのか

上洛もせずに從二位の大納言
是ぞぶせうの兆なりけり

と云ふ落首を立た者がありますが、是を聞いて素より大氣の家光公でありますからお笑ひ遊ばした、然るに御舎弟忠長公は一ッ橋内へ屋敷を構へて是を北の丸と稱し、甲府で二十八萬石を領して肌之天下の御控さい

ふ御身分、往く〳〵は駿府城の主となる資格もあるが、何分にも御兄弟の仲面白からず兄上家光公を怨み是を失つて我徳川三代の相續をいたしたいと云ふ念慮は寸時も失せず、時機あらば西丸大納言を失つてくれやうと始終家光公の擧動を窺つて居りまする、借人と云ふものは若い時には得て心得違ひがあるもの、西丸大納言殿が毎夜遊里通ひをしたといふお話しがございます、最も五代の將軍舘林右馬頭公が二代目の高尾の許へお通ひなすつて、高尾が蝶御紋の附いた召物を著て居りましたから其筋の役人が取調べると　高『是は舘の宰さんから貰つたんじやます』と云つた何だらうと段々調べて見ると、舘林宰相右馬頭様でありましたから役人も手を付けられない、又仙臺陸奥守綱宗侯が三代目の高尾の許へ通つたといふ話しもある、傾城傾國とは城を傾け國を傾けると譬ぐさらでありますが、然らば昔は大名が通つたものと見ゑまする、最も吉原と申しても只今の場所ではございません、人形町芳町浪花町彼の邊を總て禰宜町と稱へて遊廓であつた、是は庄司甚内が許可を得て駿府の七丁町から五丁引いて參つたもので、然らば是を五丁町と云ふ、駿府に殘つたのが二丁町、庄司甚内のことを廓内の者が親父と云ひましたから此の人の架けた橋が今に殘る親父橋、大門通りといふは其頃の大門があつた所と見ゑまする

西丸家光公は毎夜四五人の近臣を伴れて初代高尾の許へお遊びにお出なさる、其當時は御本丸も平城と稱へて至つて要害もお手薄であるから自由に出入が出來たものと見ゑまする　或夜窃に御出に相成り遊興を盡し夜の明けぬ内高尾ときぬ〴〵の別を惜み廓内をお立出になり、九段の牛ケ淵まで戻つて參りました、最も其時分の九段であるから至つて淋しく木が生茂つて居りますが、スルと木影よりバツと出たる一人の曲者、覆面をして嚴重なる支度を爲し九尺柄の槍を持つて物をも云はず、家光公へ突きかゝりました、お側に居つたる大久保喜十郎が『曲者ッ』と云ひさま拔討に其の槍のケラ首を切落した、曲者は槍を打捨て腰刀を拔いて斬てかゝる、此の有様を見たお側の人々は一刀を拔きつれ〳〵彼の曲者を押取り圍んで討つてかゝる、暫時斬合つたが迚も敵はぬと見て取つたか袖下を掻潜つて逃失せました、大勢は跡を追蒐けましたがとう〳〵姿を見失ひましたから取つて返し、其處に打捨たる槍を取上げて見ると逢身でございます、是は豫て巧んだものと見ゑますが然し何者か更に相判りませんが其後段々取調べて見ると、甲府宰相忠長公の槍術指南役佐布利徳五右衛門の所爲だと云ふことが判りました、家光公は更に頓著なさらず相變らず夜毎〳〵の廓通ひスルと是を聞いて心配をなされたのは土井大炊頭利勝侯、是は由々しき大事御意見をせずばなるまいと西丸大納言殿の御前へ出て御目通りを願ひ出ました

外科一般 皮膚科
淋疾泌尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話西一一九番

內科 小兒科 婦人科
京城醫院 村上憲佑
本町二丁目浦尾旅館前 電話七四二番

一月十八日 九星
舊十二月廿五日 庚申
木命 三碧 東 危 赤口

▲三碧 自贅主義の事多き日新事 見合 坤の方は吉 ▲四綠 親貸の日 轉居 入學 金件 行商 命名 婚姻 牧畜 商業等 皆吉 ▲五黃 難題などのかに來る事有る日新事 手控 萬事は吉 一切のせわを禁す ▲六白 粗忽な事有る日新事 手控 萬事は吉 萬可 嗟にせらるべし ▲七赤 空想に耽る事有る日新事 手控 萬事は吉 一切のかけ事を禁す ▲八白 笑に見ゑる職事有る日新事 手控 萬事は吉 取引は用心の事 ▲九紫 東架の日 轉居 旅行 求職 命名 命件 婚姻 造船 鑛山 栄等 萬吉 ▲一白 [illegible] の日 轉居 行商 求職 命名 命作 川獵 新聞 音樂 業等 萬吉 ▲二黑 水臭き斷しれる日新事手控 萬事 [illegible]

商業登記公告

地番號ノ設定ニ依リ株式會社韓一銀行ハ高陽郡龍江面東幕上里ノ支店所在地ヲ高陽郡龍江面東幕上里百番地ト變更シタリ

株式會社韓一銀行取締役趙秉澤ハ大正六年壹月貳日其ノ住所ヲ京城府昌信洞六百五拾壹番地ニ移轉シタリ

右大正六年壹月拾貳日登記

商號新設

商號 朝鮮產業社、營業ノ種類 勸業債券月賦販賣有價證券現物賣買有價證券擔保貸付、營業ノ場所 京城府太平通壹丁目拾參番地、商號使用者ノ氏名住所 京城府太平通壹丁目拾參番地 矢田菊二 京城府瑞麟洞百六拾參番地 康弼秀

右大正六年壹月拾參日登記

京城地方法院

寫眞

寫眞出張撮影
寫眞銅版、亞鉛凸版
最も熟練せる技術を以て最も低價に迅速と叮嚀親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社 寫眞製版部

ノリとノビとの優れて好い新發見
ホーカー白粉
他に類のない襟を汚さぬ不思議な
つけて…
白さが異ふ、
●自然らしい白さにつく
●斑なくお化粧崩がしない
●皮膚の營養劑を含む
●洗つてもあとまで白い
●自由自在のお化粧ができる
定價 美麗箱入一瓶 二十五錢
▼最寄の店に賣切の節は振替又は三錢切手代用で直接本舖宛御注文下さい
●●委託内地賣店負擔——海路廿錢
ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー染髪液 ホーカースサート
本舖 東京日本橋 堀越嘉太郎商店

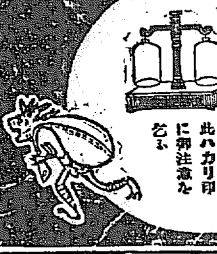
急告
支店長
其一地方に於て支店を設置し自ら部下統御をなし株式又は有價證券賣買に趣味ある者は履歴書に希望地を添へ郵券三錢封入申込者回答
東京市日本橋區南茅場町十五
現物賣買專門
東京商事株式會社

和洋 家庭 [illegible]
增田本店 [illegible]

登錄商標
產前產後子宮病血の道の藥
婦人要藥
清婦湯
東京日本橋北大阪町 高木與兵衛
效能 月經不順、子宮病、子宮内膜炎及貧血症、こしけ、偏頭痛、[illegible]
說明 [illegible]
定價 一日分金七錢 三日分金廿錢 七日分金 [illegible]

花柳病專門 外科
◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病
◎睾丸病◎肛門病◎皮膚病
◎婦人病◎神經衰弱
◎六〇六注射包皮其他手術毎日
◎診察無料◎入院隨時
京城長谷川町南大門通農銀裏
司生堂醫院

自然の黒髪のやうにキット染る!!
ナイスの五大特長
■タツタ二十分で染る
■永く保ち褪ず剝げず
■枕に汚點つかず
■却て毛の艶を增す
■用方至極手輕なり
價 大瓶價七十錢 小瓶價四十錢 男子用價三十錢
ガランシ赤毛染
ナイス
發賣 大阪 東京 丹平商會

拙者は
かぜの神である、年中あらゆる人間の油斷をのみ覗ふてゐる、而も今は拙者の最も得意の時候だから、ドシ〳〵肺炎や窒扶斯の種を蒔て苦しめてやる、其中酷く侮る奴は容赦なく殺して了ふ、
然しハカリ印のヘブリン丸は拙者唯一の强敵である、拙者が如何に暴力を振ふても忽ち擊退されて了ふ。
實にハカリ印のヘブリン丸には流石の拙者も兜を脫がざるを得ないのである。

本舖 大阪 合資會社 參天堂藥房
此ハカリ印に御注意なさい

最初の一回が大切です。
お子様方が、喜んで歯磨を使ふ様になるのも、ならないのも、最初にお使ひになる歯磨の良い悪いによつて極ります。
若し最初に使ふ歯磨が悪いと、お子様は二度と再び『歯磨といふもの』を使ふ氣にはなりません。それと反對に良い歯磨であると、其後も御自分から進んで歯磨を使ふ様になられるものです。

ライオン歯磨は
香も色も歯觸りもお子様に歡ばれるばかりでなく、お子様の柔かい歯、柔かい歯齦を完全に保護する最良の歯磨です。それ故お子様の歯の爲め御健康の爲め、是非是非ライオン歯磨をお薦めするやうに致したいと存じます。
ライオン歯磨 ライオン石鹼 本舗 小林富次郎 東京 大阪 名古屋
(5—732)

京城日報　第三版

一月十七日（夕刊と合せて八頁）

發行所　京城太平通一丁目　合名會社　京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介

戰爭と平和

京城日報

墺匈獨逸講和提議、北米合衆國大統領移牒あり、局外中立國亦、相率ゐて、講和運動を試むるや、其議論紛々たりしが、此度の聯合諸國の、米國大統領に對する、回答を見るの、各聯合國の意思の存する所を知り、爾臘以來の、講和運動亦、此に一段落を結べり。

吾人は初めより、此度の講和運動の、失敗に終るべきことを、豫言したり。其れ既に戰爭なり、何れの時にか、平和を回復するに至るべきや、論なしと雖も、其時機未だ至らずして、平和回復を云ふも、行はるべからず。見誤て、其時機未だ至らざるに先ちて、和を講ずるが如きあらむか、是は決して、永遠の、平和を保障する、所以にあらず。其所謂、平和回復は、暫時の休戰に過ぎずして、更に第二大戰役第三大戰役を引起し、禍亂際限なかるべし。此の如きは、今日の平和運動とても、決して之を欲する所にあらざるべし。

現在の戰役に就て、之を見るに、交戰者の實力と、其戰鬪の成跡とは、極めて不衡平なり。英、佛、露、伊、諸國の實力は、獨墺に、倍徙するものあり。其國民の意氣亦、甚だ旺盛なるに拘はらず、千九百十四年、開戰以來未だ、一度も其力を、伸ばす所あらずして、却て弱者たり、曲者たる所の、獨墺をして、獨り其爲す所を、擅まゝにせしめ、白耳義、塞爾維、黑山國及び、羅馬尼を擧げて、其蹂躙する所となる。抑も、物其衡平を得ざる間は、動くは事理の當に然るべき所なり。聯合諸國、其力滿ち、其氣揚りて、而して、其事理の、一も見るべきものなし、是れ豈講和を云ふの時ならむや。

昨千九百十六年中の、戰局を案ずるに、獨逸のヴェルダン攻擊は、全く失敗に歸し、彼が莫大の、犧牲を供して、死戰したる結果は、僅に自己の實力の、一半を、喪失するに終りたり。又ソンム其他、西部戰線の戰鬪にて、敵軍自ら支ふる能はずして、退きたるは、明かに、其實力の相違あるを、實證するものなり。乃ち戰爭已む事已の中原に於て、實力を以て、相爭ふときは、獨逸は到底、其佛の敵にあらざるなり。只其邊隅の戰爭に於て、地形の便、發縱を占むるものあり、羅馬尼の地の軍の爲めに、蹂躙せらるゝに至れるが如き、亦勢の、已むを得ざる所なれども、邊隅の得意は、以て勝敗を定むるに足らず、勝敗を決するものは、則ち中原の大決戰ならざるべからず。聯合諸國が、今春夏の交を以て、大決戰を行はむと欲し、其準備に是れ努むるは、則ち此に恃む所あるを以てなり。

近報敵軍サロニカに、殺到すべきを、傳ふると頻なり。或は敵軍北方苦寒、兵を用ふるに、利あらざるの時を以て、此に新たなる、休戰を試むるやも知れず。希臘、塞爾維方面の聯合軍、果して何程の、勢力あるやを、詳かにせざれども、是れ亦邊隅の事なり、其一進一退の如きは、敢て大局を左右するに足るものなし、只敵にありては、此方面の事は、其死活問題なり。今日敵の主力は、獨墺洪國なりといふも、墺洪國は、今既に、潰滅狀態に陷り、僅かに獨逸の、一聯邦たるの姿を以て、其餘喘を保つに過ぎずして、其の羅馬尼を、急攻し、及びサロニカを窺ふが如きは、且つ是れ墺洪國の、運を綢繆して、其命脈の將に、絕えむとするを、繫ぐものに外ならず。

京城雜筆

山縣生

▲何人も知る如く、歐洲の大戰亂に由りて我國も米國も非常なる利益を得、又得つゝある。我國に於ては昨年は三億餘萬圓の輸出超過を見、種々の製造工業が起り、海外に於ける我商品の市場が大に擴張された。のみならず我國は負債者の位置より債權者のそれに轉ぜんとしつゝある。斯の如き有樣なるが故に我國人の多くは心中窃に此戰爭が永く續く事を希望して居るやうである。

▲米國が此戰爭の爲めに利益を受けたる事は我國に幾十倍し、其商工の繁昌は凄まじきばかりで、實に其金の津浪に捲込まれつゝあるかの觀がある。我國に於ても多くの戰爭成金が出來たが、米國に於ては更に多く、戰爭の爲めに巨富となりたる者は新に一千萬圓以上の財産を作りたる者少なくも五百人はあるといふ。

▲斯の如き次第なれば、歐洲の大戰爭は確に我國、米國及び其他の中立國を利益したるは否むことが出來ぬ。しかしながら我國に於ても、亦米國にても、總ての人が其利益を蒙りたるかといへば、決してそう言ふ事は出來ぬやうに思はれる。否一部の人はこれが爲めに却て生活の困難を加へたやうに思はれる。

▲米國でも我國でも戰爭の爲めに利益を受けたのは一方に於ては商工業家、殊に軍需品の製造販賣に從事する者及び運送業者等で、他方に於ては一般の勞働者である。前者は其收益に多大の利益を見、後者は其賃金の割增を得た。然しながら一定の俸給若くは財産より上る所得に由りて生活する人々は物價の騰貴の爲め困難を見ざるを得ざることゝなつた。

▲米國に於ては此狀態が殊に甚しいやうである。記者が最近有名なる米國の文士ジョージ、ケメン氏より得たる私信に據れば、一定の收入に由りて生活する中流社會の人々は、物價の非常なる騰貴の爲め、生活難に苦んで居るやうである。

▲氏の報に曰く、今日紐育で一箇月六百圓の收入を以て、相當の暮しを立てることは難しい。私は私の財産から上る年收は四千圓であるが、これだけでは市外に於てすら樂に暮すことが出來ぬから、働くより外はないやうになつたら、日本へ退隱しやうと思ふが如何だらう。女中や料理人を雇ふ事は殆ど不可能で、私の友人で一年一萬二千圓の收入ある者で此二年來料理人を雇ふことの出來ぬ人がある。何故此やうに女中や料理人が不足であるかと言に、勞働者は軍需品製造所に雇はるれば一日七圓から十二圓の給金が取れるからである。雞卵が十二個で九十錢から一圓四十錢する事で、物價がどれ程上つたか御察しが出來るであらうと。

▲記者は氏への返事に、日本でも物價は騰貴したが、然し一年四千圓の收入があれば樂隱居が出來る。米國に於ける生活難の爲めに、氏の如き有名の文士を我國に迎ふることが出來れば我國にとりては誠に幸であるが、米國の爲めに悲むべき事であると書いて送つたが、四千圓の年收で安樂な生活の出來ぬやうになつた米國は果して幸福といふことが出來やうか。

▲戰爭はいつ迄續くか分らぬが、いつかは必ず止む時がある。其時に當りて黃金の浪は打止みて、不景氣が必ず襲ふのであらう。然る時今は高い賃金を得て鼓腹して居る勞働者の多數が或は職を失ひ、或は賃金を下げられて困難に陷り、其結果慘憺たる資本と勞働の衝突が起るは必定である。現に戰時の繁昌に於てすら、物價殊に食料品の騰貴に苦み、食料品輸出禁止の議がある程である。戰後の米國財界は今から思ひ遣らる。

▲日本に於ては米國程に多くの黃金が入らぬ爲め、從て戰後の財界は比較的動搖が少なからう。それでも先日講和說が傳はつた時、我財界に恐慌が起つた事から察すれば、我々が今豫期しつゝある以上の悲境を現出せぬとも限らぬ。此時に狼狽せぬやう我々は今日から準備を整へておかねばならぬ。

▲殊に記者の如く一定の俸給に由つて生活する者にとりては、物價の騰貴はつまりそれだけ俸給が減少したると同樣なれば、よほど考へて生計を立つるに非ずんば他日後悔せざるを得ぬ事が起るであらう。記者は好んで悲觀する者に非らざれど、用心に如くはなければ、記者の如く一定の俸給によりて生活しつゝある人々の爲めに敢て此一文を呈するのである。

「大正の青年と帝國の前途」を讀む（十八）

十二月十二日 上海に於て　大谷光瑞

古より儒學の我國に入るや、上代に聖德太子あり、儒を尊で然かも深く佛を奉じ、儒佛甚だしく軋らず、德川時代に隆替ありと雖も、其多く儒佛相和せり。德川幕府の代に至るや、宋儒を尙ぶ。宋儒は量狹く、識昏し、多くは佛を排す。時に幕末に至つては、宋儒を奉せざるものも亦排佛に非ざれば、儒に非ざるが如く感せり。故に唐儒韓退之の如きは、師表の如く是を崇ぶべし。維新の志士多くは、是の教訓を蒙るを以て、佛を奉せざるを以て誇るが如し。蓋し支那に於ても儒佛相容るゝあり、相容れざるありと雖も、道佛の如く必ず相反する者に非ず。儒の說く所は、教育なり、宗教に非ず。故に宗教を以てせば、相容るゝを得るも、容れざるの理なし。容るゝは自然なり、容れざるは不自然なり。故に容れざるの人は、多く狹量、固陋の人なり。宗教の道は否らず、不完全なりと雖も、宗教の形をなせり。故に混ずるを得るも容るゝ能はず。外國に於て、佛教、耶蘇教、マホメット教、拜火教、波羅門教等の互に相反し、融和する能はざるは、此の理なり。我邦幕末又佛門の巨匠なし、故に儒に抗し、其狹きを闢き、陋を破るの力を缺けり。是れ幕末以來、振はざるの一因なり。

今の世人皆謂へらく、佛は死後を說く、故に葬祭の用ありとも、現在に於ては、其効用少しと。僧徒も亦之に雷同し、葬祭を以て自己の衣食の資に供せり。何ぞ知らん大聖世尊は生前も說けり、生時も說けり、豈に死後のみならんや。既に過去、現在、未來の三世を說き、三世を超越し、因果を說きて、因果を超越し、湛然として、寂靜なり、凝然として、不動なり。是第一義諦の妙趣なり。死後葬祭の如きは、寧ろ教育の範圍に於て、重大なりと雖も、佛教に於ては、其微なる事纖芥の如し。而して今の世人僧徒皆纖芥を見る事、大山の如く、是を至要となせり。纖芥を以て豈至要の物ならんや。纖芥を以て既に至要の物となす、故に今日の所謂佛教の振はざるや宜なり。死後の葬祭は、先人に對する追孝にして、既に未來の如しと雖も、實は現在の事なり。倫理教育の延長せる一端なり。倫理は人類間に於る道德也。人類以外を以て、是の道德の規矩に律す可らず。世人多くは、倫理に於てなすべきを宗教中に索めんとせり。僧徒又衣食の用に是を供し、默して其非を云はず。唯眞宗は葬祭を主とせず、第一義諦の眞面目を發揮するを教旨とし、禪宗又別方面より是が眞相を知らん事を力む。二者は教旨として、決して葬祭の如き低級の事を云はずと雖も、是が實行者に至つては、依然葬祭に依て衣食するのみ。

米國に於ける煙草トラスト

一、煙草トラストの起源沿革（3）

其沿革と……事業經營（三）

▽嗅煙草事業統一　煙草トラストが板煙草事業統一の爲に設立したる大陸煙草會社の資本金は創立當初七千五百萬弗、後にリゲットマイヤース其他の競敵を買收して二千五百萬弗を增資し、合計一億弗の鉅額に達せり。其板煙草年產高一億三千萬封度に上り、米國に於ける全產高の七割五分を占めたり。斯くてトラストは紙卷煙草と板煙草事業の統一に殆ど成功し、復た斯業界に恐るべき競敵を有せざるに至り、千九百一年には米國煙草會社と大陸煙草會社とは一團となりてコンソリデーテッド煙草會社を組織せり。然かもトラストの活動は、紙卷、板、嗅煙草の生產並に市場の統一を以て能事畢れりと做さず、更に進んで嗅煙草事業の統一を期し、遂に一九〇〇年三月米國嗅煙草會社の設立に於て之を實現せり。此會社の資本は二千三百萬弗とし、此時も亦板煙草事業統一の際に於ける如く、米國煙草會社は其の嗅煙草工場其他の財團四百五十萬弗を新會社に移轉し、其の實權を掌握せり。新會社創立と同時に大西洋嗅煙草會社を始め十數箇の有力なる會社又は商會の工場を其の支配下に投じたり。是等各工場の一年總製造高は當時千五百萬封度にして、米國內の總產額に當りしが故にトラストは殆ど完全に嗅煙草事業の統一を期し得たる也。

▽葉卷政策　既にしてトラストの運動は葉卷煙草產業の統一に向つて進めり。一九〇一年に其計畫成り、其資本金一千萬弗を以て獨立葉卷業者の買收を行ひ、各地に散在せる個々の大小工場は著々新會社の併合する所となり、米國葉卷會社の資本金は一九〇六年には膨脹して四千萬弗となれり。然るに葉卷煙草事業の統一は、之を紙卷其他の製造業に比すれば困難なる事情ありて、葉卷會社四千萬弗の資本を以てして、尙ほ一九〇七年には米國中の葉卷全產額の二割五分を統一するに過ぎざりき。困難なる事情とは他なし、嗅にも述べたる如く、葉卷の事業は其製造販賣共に小規模經營に屬し、器械力を應用すること尠かりし故、小規模製造業者と雖もなほ大資本のトラストに拮抗して精良品の生產に當り得べく、即ち寡兵を以て大敵を惱ますに比較的容易なるが故なり。尤も葉卷の製造に特種の器械の應用を見るに至りて、トラストは器械利用權を獨占せん爲めインターナショナル、マシン會社を買收し以て競爭に備ふる所ありき。

▽販路直營　葉卷事業は製造方面に於て統一の困難なる如く、其販賣方面に於ても亦統一を困難とせり。製造煙草の販賣に於ては、各小賣店は各種の商品を鬻ぐを常とするが故、トラストに於て假りに紙卷煙草を以て販賣店に其勢力を扶植する時は、從て他の板、刻、其他の製品の販路も之に伴ふて推し擴げ得ること容易なり。然るに葉卷事業の統一は未だ一部分に過ぎざるを以て、トラスト如何に有力なりとも、紙卷其他の製品の市場に於ける如く、葉卷市場を濶歩する能はずして、多數の競爭者を排して小賣店を支配するを得ず。之が爲めに種々苦心を重ねたる末、遂に彼は葉卷の販賣には自社直營の小賣店を設くるの外他に有力の競爭法なきを覺り、即ち製品の卸賣小賣共に仲介者を俟たずして直營方針の下に販賣上連鎖制度を實行し、米國內に一千有餘の店舖を開き、紐育市のみにても三百以上を數へたり。之に止まらず更にトラストは葉卷市場の縱斷を期してナショナル、シガー、スタンド會社を起し、之をして國內の藥品店に於ける葉卷の販賣を支配せしめたり。會社は其方法として藥店に手當を交付し、陳列棚、窓飾其他の必要品を供給して自社の製品取扱を獎勵したり。

▽ハバナ會社　葉卷產業中最も有利なるは米國內並にキューバ島にて製造せらるゝハバナ葉卷事業なるが、トラストは早くも此方面に著眼し、一九〇二年以來、之れが統一を企てたり。キューバ島の葉卷產業は既にヘンリー、クレイエンドボックの二會社（英人經營）ハバナ、コンマーシャル會社（米人經營）及びキューバナ會社の三社に統一せられ居たるが、一九〇二年トラストの親會社たるコンソリデーテッド會社は右三社の支配權を各別に獲得し、是等を合せてハバナ煙草會社を成立せしめたり。

日報詩壇

雪　—五の日十の日合吟—

○雪の朝細の鯛のみ　虎耳
○今朝の雪途磨にて埋れぬ　句平
○我家の塀に添ひ出る雪　烏堂
○雪の舟より使する戸惑ひ　目池

○夢富嶽　笹島　紫峰
東壁○西光○春信○通○屠蘇○一醉○臉潮紅○笑吞豪氣○依然在○夢上蓮峰○嘯朔風○
評曰　有鵬翅一搏扶搖千里之慨

○題壁　西田　白陰
一劍○天涯○飄泊身○丹心○報國○不辭貧○伴雲一笑○看名利○奔走人○
評曰　又是見磊落襟抱

○同上　富澤　雲堂
無物○貧厨○歲又殘○老懷○只有○酒天寬○時顏○鯨○能待○春處○一朵○瓶梅○花不寒○
鳥兎○匆匆○不待予○詩書○徒是○悔廬○譽○一年○將暮○酒○鍛乏○億到○曾遊○感有餘○
評曰　其氣稜稜、其韻鏘鏘。

○多夜茗醺　望月　桂軒
夜來○白雪○見空城○庭竹○無風○夏有聲○詞友○團爐○啜芳茗○品評○唐宋○忘塵情○
評曰　詞亦玲瓏絕俗。

○寒夜茗醺　木田　芳洲
凍雲○漏月○雪餘天○好掬○玉塵○茶可煎○聽到○松濤○生石鼎○幽人○詩思○寂於禪○
石爐○相擁○思無邪○同喫○趙州○禪後茶○寒月○如泉○詞客興○徐移○松影○上窓紗○
評曰　幽澹雋新、可稱妙品。

ストーブ用
新荷到着
內地塊炭
一般需要に應じ申候
京城西小門町電話七二七番　西崎商會
京城鍾路角電話二四〇七番　西崎商會支店
京城西大門驛構內電話二二七番　西崎商會貯炭場

帝國製麻株式會社
東洋木材防腐株式會社製品
朝鮮特約販賣店
京城府龍山元町二丁目五十七番地
村松武八商店　電話二六番
營業種目……麻、綿、ズック、ダック類販賣
和洋麻細毛織物及製作品、鐵道貨車雨覆請負
天幕、雨覆製作請負、並にズック製作品一式
特許品（木材防腐劑）東洋木材防腐株式會社製
クレオソリーム　クレオソート

質　開業
太平通二丁目五八（麗華園裏）
本多質店

■市廣製品の優越なる
■製造能力の絕大なる
■製品の堅牢且つ廉價なる
■各種綿糸調帶の在庫豐富なる
總ての點に於て卓越せる
羽田式調帶!!
●御申越次第定價表並ニ見本贈呈可仕候
朝鮮總代理店　京城南大門外　白神洋行京城支店
電話長二五一七番　電略（シ一）　振替京城九二七番

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町電話四二〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

□皇后陛下御詠歌
奈良女子高等師範に賜はりたる

皇后陛下には奈良女子高等師範學校に對し御親著の御詠歌一首を賜はりたり(東京特電)

御詠

春日の山に出づる日の、曇らぬ光り仰ぎつゝ、
咲けや心の花櫻、積めよ誠の訓へ草
源淸きさほ川の、汀の柳打榮えて
故きを溫ね新らしき、道に進めや一筋に

◎筑波死傷者へ下賜

天皇皇后兩陛下には去る十四日橫須賀軍港內に碇泊中の軍艦筑波爆破沈沒に際し死傷者を生じたる趣聞召され十六日左の如く下賜の御沙汰ありたり(東京特電)
祭粢料金一封宛、死亡者へ
御菓子料金一封宛、負傷者へ

◎侍從臺灣に向ふ

淸水谷侍從は十六日朝神戶發臺灣震災地視察の途に上れり(大阪特電)

◎白仁長官通過

白仁關東都督府民政長官は議會出席の爲め十六日夕刻安東驛通過東上せり(安東特電)

◎獨米第二行動

聯合國側の對米獨墺兩回答は既に送附せられ客臘米世界をして注目せしめし講和問題は一先づ玆に打切られたる次第なるが獨逸及び米國が更に何等か第二段の行動に出で再び提議し來る事なきや否やは次に人の注意を惹くべき事件なり

▲米國に於ても 先のウヰルソン氏の提議に對しては反對意見を有するもの少からず上院に於ても大に非難せられ更に第二提議をなすべしとの風說流布さるゝや米國政府は公報を以て之を打消せる程なり今回の聯合國の回答は既報の如く獨逸より挑戰せし事實を無視して之を聯合國と同一の地位に置きしウヰルソン氏の提議に對し抗議を提出し更に具體的に聯合國の講和條件を開示せしものなるを以てウヰルソン氏は或は此抗議に對して辯明し此條件に對し何等かの意思を發表するやも測られざるも此種の行動は極めて細心の用意を以てせずんば

▲獨逸側の利 に偏向すとの誤解を受易ければウ氏或は更に適當の時機迄其發言を差控ふるに至らむとの觀測あり又獨逸側よりは更に聯合國の回牒を反駁したる通牒を各中立國に對して發せると別電の如し此の如き通牒は從來各中立國に對して事件ある每に兩對手國より屢々發せられたるものに例せば聯合國側に於て獨逸が波蘭を獨立せしむる條件の下に同地より募兵せる時ルシタニア號サセックス號擊沈の時及び白耳義人民の虐遇せられし事實等に對し各中立國に宣明する所ありたると同じく各中立國は之を聯合國側に傳達するを要せず性質上其儘に放任せらるべきものなる如きも

▲今回の通牒は 敵國側が聯合國側の回答に接し之を反駁する代りに各中立國に訴へしものなれば相當注意を要すべく若し聯合國側が之れに對抗して矢張中立國に對し何等かの宣明をなすならんには中立國を通じ玆に双方の言論戰開始せらるゝなるべし此通牒は十一日交付せられ聯合國側の對米回答は十日交付せられしものなれば多分此通牒は聯合國側の對米回答を知る以前に起草せられたるものと目されつゝあり若し彼等の對米回答を知るに及んでは更に或は第二段の行動に出づるやも知る可らず

◎支那鐵道計畫

▲齊愛鐵道 昨年中該線の測量に從事しつゝありし技士は前日歸來して交通部に報告を爲したるが其要點に據れば本線は齊々哈爾を起點とし布特哈、墨爾根を經由し愛琿に至る全長一千二百二十支那里にして本線の難工事は瓊河黑龍江の兩大鐵道と及び興安嶺山脈の三大隧道等にして其工事費八百萬元全線の工事費は二千二百萬元にして一支那里平均一萬八千零三十三元なり而して全線の開通は工事著手より一千日を以て竣工し得べしと

▲借欵鐵道 外國借款により或は自己の資金により本年中に工事に著手し又は測量に從事すべきものは左の如し ▲張綏線(張家口より歸化城に至る三百十七哩、目下大同府迄開通) ▲張庫線(張家口より庫倫に至る全長八百〇一哩) ▲蘭伊線(蘭州伊犁間二千五百十六哩) ▲西蘭線(西安蘭州間五百〇三哩) ▲西寧線(西安より南寧に至る六百二十五哩)等にして本月中に右各線は測量員を派遣すべしと

▲川奧線近狀 該線は光緒時代米國人の權利を獲得せしを時の湖廣總督張之洞此れが權利を回復し該線通過の各省民の出資により布設する事となりしも資金の募集不可能にして其儘遷延し居りしを宣統三年郵傳部大臣盛宣懷の主張にて該線を國有として布設せんとして遂に淸朝倒壞の導火線たる四川の大風潮を惹起するに至り政府も止むなく四川廣東兩省內の分は二十年後國有とする條件附とし各同省の民辦とし湖北湖南の兩省は外債にて布設するに決し民國元年政府は詹天祐を該線の督辦とせしものなるが現在竣工せるは川漢線の漢口より天門の皂市に至る二百餘淸里にして更に沔陽縣迄三十七基羅延長せんとしつゝあり廣漢線にありては武昌蒲圻間三百淸里岳州、沙間二百餘淸里は不日開通し此秋迄には全部開通するを得べしと(北京)

◎小宮氏王世子附囑託

李王職次官を辭せし小宮三保松氏東上の上は李王世子附囑託として常に伺候すべしと

◎鮮鐵荷動旬報
十二月下旬に於ける

本旬の貨物輸送狀態を見るに發送噸數五萬三千二百七十七噸收入五萬九千六百五十三圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て九千八百三十一噸(一割六分六厘)を減少し收入に於て六千百五十圓(四分)を增加せり、本旬中出荷の主なるものを揭ぐれば次の如し

順位	品目	噸數	順位	品目	噸數
一	米	一二、〇六〇	九	繩叺	八八四
二	石炭	六、二九三	一〇	豆粕	七九二
三	大豆	四、二八二	一一	鹽	七八四
四	木材	三、一三九	一二	薪	七五五
五	木炭	一、二五七	一三	石油	五九一
六	明太魚	一、二五六	一四	黑鉛	五五四
七	雜穀	一、三三二	一五	石材	五〇二
八	鮮魚	一、〇一七	一六	鹽干魚	四七四

次に前年同期に比し增減の著しきものを擧ぐれば左の如し(△印は減を示す)

品目	增減噸數	品目	增減噸數
石炭	△五、三〇四	鹽	三六八
米	△三、八九二	大豆	三五五
木材	一、二九九	黑鉛	三四九
礦石	△九四一	薪	△三二〇
豆粕	七九二	石粉	三〇一
明太魚	六八九	雜穀	△二九三

主要貨物の出荷槪況左の如し

▲米 米價引續き軟弱にして一般に賣惜みの姿なりしため荷動鈍狀を呈し前旬に比し四千六百十四噸前年に比し三千八百九十二噸の減少なり本旬中主なる著驛別數量を示せば次の如し

順位	著驛	噸數	順位	著驛	噸數
一	釜山草梁	二、九三二	六	鎭南浦	三五五
二	南大門	二、二七六	七	元山	三〇八
三	仁川	一、六四七	八	南滿線	三〇四
四	群山	一、三九九	九	木浦	一七〇
五	鐵道院線	七二二			

鐵道院線行は大阪著の二百七十七噸を最とし次は汐留秋葉原著の百五十三噸とし關門著の百十四噸等を主なるものとし南滿線著は哈爾賓著の二百二十一噸撫順著の四十二噸長春著の三十二噸等を主とす

▲石炭 需要の最盛期に入りたれども撫順炭は滿鐵線內貨車逼迫のため輸入不振なる結果前年に比し千五百噸に減じ平壤無煙炭亦出炭減少のため總輸送數量に於て前旬に比し四百十五噸前年に比し五千三百七十四噸を激減せり

▲大豆 鐵道院線內輸送力不足に基因し前旬に比し二千七百四十噸の減少を示せるも前年に比しては尚三百五十五噸の增加なり本旬中內地連帶輸送數量は三千四百九十噸にして其主要著驛を揭ぐれば左の如し

順位	著驛	噸數	順位	著驛	噸數
一	汐留	三七八	六	半田、尾道	各一二六
二	下關	二六六	七	兵庫、岐阜、四日市	各八四
三	名古屋	二五一	八	大阪	六五
四	門司	二〇〇	九	中泉、茅野	各六三
五	鹿兒島	一六八			

近時本品の輸送區域は著しく擴大せられ前表の外九州、中國筋の主要驛は勿論關東、信越地方に及び辰野、日下部、鹽尻、大井、甲府(以上中央線)松本(篠ノ井線)柏(常磐線)金ケ崎(北陸線)等への出荷を見たり

▲木材 米豆の荷動減退したる關係にて本品の輸送稍圓滑となり相當の荷動を見たり前年に比較するに千二百九十九噸の增加を示せり

▲薪炭 穀類の豐饒と米豆相場昂騰等により一般農家の經濟に餘裕を生じ其副業たる薪炭類の生產を節まざる傾向あり從て歲末に於ける本品の出廻り甚だ不振にして加之一般輸送力の不足は是等諸品の輸送に滿足を與ふること能はざりし爲め荷動不況を呈し前年に比し後者は二百七十四噸を增加したるも前者は三百十噸を減少せり

▲明太魚 前旬來出荷好況にして前年に比し六百八十九噸を增加せり本年は豐漁にして一方穀價の騰貴により農民の購買力十分なるによりてなり

▲雜穀 米豆相場軟調の影響により本品も稍荷動鈍澁前旬に比し七百十二噸前年に比し二百九十三噸を減少せり

▲豆粕 十一月上旬以來引續き出荷好況にして安東發七百九十二噸を算し前旬に比し百九十二噸を增加せり前年は皆無なり

▲鹽 需要最盛期を過ぎ荷動を減少せしも前年に比しては尚三百六十八噸を增加せり

▲石油 需要期に入り荷動稍好況にして前旬に比し百一噸の增加を示せるも前年に比しては二十三噸の減退なり

▲黑鉛 前年に比し三百四十五噸の增加なり此は英米兩國に於ける新販路の需要增進と咸鏡南部の開通により永興黑鉛の新に輸送せらるゝがためなり

▲鑛石 新安州發价川鐵鑛石の出荷不振なると結氷期に入りたるため鎭南浦鑛石の出荷減退し前旬に比し千百五十八噸前年に比し九百四十一噸を減少せり

要之 歲末に於ける貨物運輸は米、石炭、鑛石、雜穀等大量貨物の荷動不況なりしのみならず加之山陽線輸送力の不足により全線に亘り發送制限を餘儀なくせられたるため米、豆、豆粕等內地直通貨物の荷動に多大の澁滯を來したるも穀類輸送の閑散を利用し他の貨物卽ち木材、明太魚、黑鉛、鹽、石材、石炭、鮮魚、石粉等鮮內發著貨物の一掃に力めたるため比較的好成績に越年するを得たり

◎新聞運送方改正

從來新聞又は雜誌の鐵道運送に付ては哩程の遠近に不拘一斤に付金一錢最低運賃金五錢の規定にて每日小量のものを多數に託送する新聞社等にありては一箇每に最低運賃として金五錢を徵收せらるゝ事となり託送者の苦痛は一方ならざりしが當局としても出來得る限り其取扱ひを簡便ならしむるを要するを以て今回前以て相當料金を徵して運送證票を交付し特別の取扱ひをなす事に改正三月一日より實施の事となれり

◎平壤客月經濟
客年十二月中

平壤金融は非常に繁忙を加へ輸移出入と共に諸般の取引一段の活況を呈し來るべしと豫想されしが獨逸講和問題發表せらるゝや人氣忽ちに崩落し當地は未だ內地の如く諸物價の低落を見るに至らざりしと雖も各人一樣に講和問題の前途の推測に苦しみ諸取引は一時手控の狀態にありたると運輸貨物停滯の結果金融又豫想の如くならざりしや却て幾分の閑散を呈せり然れ共是將に過度の財界に於て必ず來るべき現象にして歲末の金融は頗る圓滿に經過せりと云ふべし本月中輸移出高七萬三百二十五圓にして大豆牛皮を主とし輸移入は三十九萬七千九百廿四圓にして綿糸布雜貨類の日用品最も多く而して前月又は前年同期に比し何れも著しき增加を示せり今平壤四銀行歲末貸出總額は二九七七四二六圓にして預金は一七七九五四〇圓なりと(平壤)

◎吉田參事に記念品

今回東拓に入社せる吉田英三郎氏に對し同氏積年の交誼に酬ゆる爲總務局有志の發起にて送別記念品贈呈の議あり加入希望の向は本月中に便宜總督府總務課に申込まれたしと

人事消息

▲島田虎也太氏(平壤覆審法院長)▲關口半氏(大邱覆審法院檢事長)▲大村大代氏(大邱地方法院檢事正)▲中山勝之助氏(大邱地方法院長)▲鈴木伍三郎氏(釜山地方法院長)▲花田鍬太郎氏(公州地方法院長)十六日夜入京巴城館へ
▲柳澤佐五郎氏(大邱地方法院判事)▲前田信兆氏(光州地方法院判事)▲佐々木源之進氏(海州地方法院判事)▲三井十三二氏(平壤覆審法院檢事)同上不知火へ
▲野手耐氏(慶尙南道稅務長)同上
▲勅使河原健之助氏(平壤地方法院判事)▲獅洋友彌氏(釜山地方法院檢事)▲赤井定義氏(海州地方法院檢事)同上天眞樓へ
▲鐘ヶ江喜三氏(大倉組技師)同上
▲橋本雲太郎氏(木浦府尹)同上山本旅館へ
▲白井永城氏(醫學士)十六日入京同夜龍山へ
▲大倉喜七郎氏 十六日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

日本から今度聯合國に慰問使を派遣する相だ誠に結構千萬▲其れから一方では露國の負傷者を幾人でも引き取つて世話を仕樣ではないかと云ふ話もボツ〳〵起つて居る▲之れも大に贊成せざるを得ない現に露國では醫師や藥品や治療材料の缺乏で非常に困つて居る聯合軍の負傷者は卽ち味方の負傷者だ國こそ違へ人種こそ違へ決して他所事ぢやない▲而し負傷者を引き取つて世話をしてやるとした處でウン〳〵唸つて居る者は致方がない▲其處で主として靜養を要する患者を引き取つて景色の好い氣候の好い處でゆる〳〵靜養させて元氣を付けさすに限る▲朝鮮などは露西亞とはお隣りだから馬山や海雲臺の樣な處へ引き取つて世話をしてやつては何うだらう▲日支の親善が進んで日露の親善が益々厚くなれば之れに越した事はない▲一時天下に鳴らした河野磐州翁も大隈內閣に殉して以來益々世間に知れなくなつた▲其の磐州翁が丁度前內閣の當時當局の一人が翁を訪問して農相の椅子を去らうとした貴族院議員に推薦の意を傳へると▲翁は白髯を撫しつゝ不肖廣中老たりと雖も尚憲政に終始する考へで選擧區民の信任の存する限りは衆議院議員として國政協贊の任に竭すべく信任亡ふる時は卽ち政界隱退の時と豫て覺悟し居れりと言明した▲說客は却つて大に感服して罷り下つたとは矢張磐州翁たる處がまだ閃いて居ると政界での評判になつて居るとのこと

◎大阪より
背殿生

○個人經營の山口銀行組織變更と共に一百萬圓の資本を一躍二千萬圓に增加す甚だ突飛なるが如くなれと四圍の事情は敢て然らず加島鴻池も組織變更を促され大阪各本店銀行の膨脹は又已を得ざる形勢となり來れり

○八百餘萬圓の缺損に世人を驚かしたる北濱銀行の整理も高倉藤平君の手腕によつて著々實績を擧げ日銀の負債二百萬圓も當上半期に償還し藤田組の百三十五萬圓も近く返還の運びに至らんとすと安田銀行王の百三十整理さへ七年を數せり然るに世人の多く危惧せし北銀の整理をかく短時日に成し遂げんとする高倉君の才幹手腕眞に驚嘆に値す尙整理成ると共に行名改稱四百萬圓の優先株を發行し資本金七百萬圓とせん胸算の由慶すべし

○各會社の增資又は拂込も株界頓挫のため行惱めるもの甚だ多しと已むを得ざる現象なり一時の熱況に膨脹したる我利重役と强慾株主等が調子に乘り過ぎたる罪なり今更增資拂込の撤回も發表されず苦悶焦慮のもの多かるべし然して今や經濟界の洞ケ峠に順慶の日和見を眞似るもの跡を繼ぐ寧ろ滑稽と謂ふべきのみ

○物價の値上げは目下一種の流行ものとなれり國民生活の向上は喜ぶべきも一時の空景氣に奢侈の風を釀せしむるは憂ふべし株界の興亡は近き殷鑑を示す軈て來るべき反動は社會政策者の今より攻究し置かざるべからざる一大問題なり

○大阪市の人口は大正二年百三十八萬にして增加率は百八十七ブロセントを示す東京の二百三萬にして六十七ブロセントの增加率に比すれば其急激なる膨脹力は驚くに堪へたり此趨勢を以て進めば大正十五年頃には優に東京を凌駕すべし

○京都伏見稻荷神社の宮司大貫氏逝去せしより後任の運動甚しく內務省は勿論宮內省筋へも手を入れるもの多く目下泥戰の狀態にありと同社は年收六七萬圓に達し其他の供物より宮司以下の臺所甚だ富裕なりと云へば嫁が君の競爭も無理ならずと

○相國寺の獨山和尙近頃頻りに揮毫を樂む世人誤解して何か爲めにする處あるが如く云ふものあり評言のみ九州の諸僧五岳富豪の依賴を拒絕し門前の兒童が白金巾の蝙蝠傘に寄書を揮き與へたる事あり獨山の書又眞に樂むものに與へて敢て然らん

偶成
古海嚴潮

今朝迎歲白頭新。往績觀來陌上塵。休說人間成與敗。一家和樂太平春。

偶感

提復三軍勢未彈。攻防奇正策初闌。無端一夜傳和議。笑閱坤圖北斗寒。

◎木浦客月金融

本年度米國棉花は相場追日速騰して[illegible]軟調に傾かんとせる折柄突如歐洲戰局の講和說傳へられ一般財界動搖を[illegible]擊の程度亦思ひ半に過ぐるものありと雖も年末に至りたる折柄講和提議に伴ふ內地株式界の大動搖は延て米界にも波及し內[illegible]を見るに至れり然るに當地方主要物產たる棉花も米穀とは時局に懸隔し[illegible]れるは疑無き所にして移入品中の大宗たる綿糸布類の賣行が頓て好況[illegible]能はず從て當行貸出[illegible]年末百八萬[illegible]圓に上り月初來逓[illegible]趨勢を示せり(鮮銀支店調査)

◎猩紅熱 京城並木町二二一鄭順伊(二つ)は十四日猩紅熱にて死亡せり

●暴風警報(一月十六日午後八時三十分發) 警文[illegible]

日印協會理事 副島八十六著 好評如湧

帝國南進策

四六版 三百五十頁 定價壹圓 郵稅六錢

▲印度南洋に於ける內外定期航路圖(印度南洋に關係ある內外二十五汽船會社の各航路約一百線、記入港名約二百六十に達す)各種統計比較諸表十餘種挿入

南へ!南へ! 此叫びは高し。然れども何故に?—如何に! 之を說いて事實上に國民の肺腑に徹せしむるは無し。絢爛歌ふが如き詩人的評論や慷慨憤る如き志士的絕叫や少からずと雖ども眞に事實を基礎として一々數字の上に首肯考量せしむる我が副島八十六氏の本書の如きは空谷の跫音也。著者は二十年前初めて渡南し、爾後南洋諸國の間を往來する三回、滯留前後六年、細さに其風土人情及び商工業を究めて帝國南進策を說く二十年一日の如し。我が南進論の卒先者たると同時に其貫徹を以て使命とし、現に日印協會理事の職に在つて印度南洋貿易の發展及び日印の國際的親善を計策するに維れ日も足らず、印度及び南洋を知り且紹介せんとするに於て唯の空疎的政論家又は書齋裡の學究と撰を異にす。卽ち本書の所說は書籍の死したる文字に由らずして盡く活き實際の事實に基づくもの、例へば本書の基礎とする統計の如き嘗に年鑑又は報告の數字を無定見無覺察に引寫しにしたるに非ずして一々事實に由て檢覈糾繆したる如き以て著者の用意の細密周到なるを知るべく、一行一句と雖ども二十年間の蘊蓄造詣を以て細察したる事實の結晶ならざるなし。今や未曾有の歐洲大戰爭は帝國貿易上に空前の天佑を與へ、獨逸が三十年間の勞力を以て築きたる東洋貿易の覇權を一朝にして取つて代らんとする時に方つて、一旦獲得したる今日の經濟上の位置を益々展進して再び失はざらんとする著者滿腔の願心切々として禁ずる能はず、此一篇を捧げて遍く帝國々民を警醒奮起せしめんとす。

南へ!何故に? 如何に? 帝國國是として國民が協力一致して嚮ふべき道は本書に由て明鏡物を照らすが如く明らかなるべし。

發行所 東京市京橋區日吉町 振替東京一三一〇〇 民友社
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

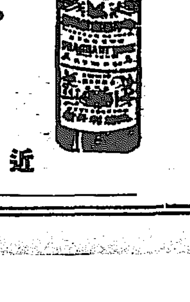
誰人も云ふ樣に 最良の健康法は 早寢、早起と 每朝夕一杯づゝ飲む事です!!

美味 滋養 蜂印香竄葡萄酒を

◎朝飲めば 其日一ぱい元氣よく
◎晚飲めば 疲れは癒りよく睡る

本酒は優良生葡萄酒を素とし補血强壯料を主成分として精製せる優良品にして全國到る處の藥店酒店にありて最も活潑なる賣行を呈しつゝあり

內外各國の金銀賞牌廿四個受領



東京本町 近藤利兵衞

自一月二十日 至一月廿四日 無料 診察 投藥 (外來患者に限る)

京城實費診療醫院

京城南大門內正面救世藥館內 電話二五八三番

タイヨー 萬年毛筆

曩に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交涉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし

京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

米國農務局は千百五十萬俵の收穫豫想を報じ從來傳へられたるより約七十萬俵の增收なれば氣配は茲に漸く[illegible]落を告ぐるに至れり[illegible]社の手持棉花（實棉とすれば約五百萬斤繰棉とすれば約百五六十萬斤）[illegible]迫と內地期米の奔騰に連れ[illegible]加はり移出約定亦相當の額に上りて遂に船腹不足の聲喧囂を極むるに至[illegible]約定米は便船每に相應に積出せり一時四萬叺に上りたる滯米も漸次消化[illegible]等物產の價格尙例年に比し遙に上位にある事とて相[illegible]和を告ぐるに至[illegible]出方面の物資殊に棉花及び米穀に對する資金は年內尙固定の域を脫する[illegible]

[illegible]の無錢飲食をなしたる[illegible]一月十五日平壤地方法院へ一件記錄を送らる

咸鏡南北道沿岸

◉王家に在つて十年の春を迎ふ
去らんとする小宮錦鷄間祇候

李王職次官を辭し近く歸東さるゝ小宮三保松氏を明治町の官邸に訪ひ「今回はあまり突然で」と挨拶を申述べやうとすると小宮翁は例の解脫した調子で半白の頤髯の叢中を

少し捩り上げながら

イヤ突然の事ではないまあ之れを見たまへと差出された

椒酒三觴萬物新。灰心尙自識佳辰。平生功業人若問。我在李家迎十春。

と云ふ譯で東坡自贊に『心是已灰之木』と又『問平生之功業黄州』と云つて居るが拙者の灰心尙自から識る處あり平生の功業人の問ふ有らばまあ大した事は無いが李王家に在つて十年の春を迎へ其間

自家の成すべき事は

大抵爲し終つて一段落を告げて居ると思ふし倅も今年は幸ひに優良の成績を以て一高を卒へ帝大に入學する事に成り娘も年頃で早晩何處かに嫁付けねば成らず母親の手にばかり何時までも任かせて置く譯にも行かぬと云ふ樣な家庭の事情もあり且つ拙者も漸く老體に及ぶので一日も早く內地へ歸つて

悠々好きな茶を立て

たり讀書にでも耽つて居たいと考へ前總督の時代から屢々辭職を願つたが何時も許しが出なかつたが今度漸く辭職の御許しが出たから幾年振かで家に歸る事が能きると翁は感慨無量のもの丶如く更に

寄愁依舊歲華新。千里別家逢令辰。才學無成妻子笑。空迎五十九年春。

の一絕を示され而し幸に歸東の後も朝鮮との緣故は絕たず囑托として

李王世子の左右に伺候

する事になつたので每日曜日位に御相談相手を申上げる事に成つて居ると又

可憐洋學士。十歲不歸家。養氣偏呼酒。解愁却喫茶。既拂霜與雪。只願月與花。人事如春夢。未醒髮已華。

と之れは翁が此の程病褥中の吟であるが抑へ難き望鄕の念を推察するに餘りあるものがある翁は語るやう自分が李王家に盡した御奉公は誠の一字です事蹟の見るべき事は無いかも知れぬ而し

自分は十年一日ごとし

て王家に對して赤誠を盡つた事は無いこれは私が就任の始め故伊藤公が日鮮互に理解し融合するには凡の言行を誠實にしなければ成らぬと操返へして誡められたので爾來私は此の一事を服膺して居たので私のした仕事の跡に付ては凡て目に見ねぬ處に心を碎て來たのである目に見ねた仕事とも云べきは昌德宮の廢を興し

李王殿下の御住ひに

相應しく修理した事動物園博物館、植物園の開設その外王家の財產整理王宮內の廓淸など只々王家萬年の末を思つて誠を披瀝した微衷の跡です今歸東に當つて久しく住馴れた朝鮮と別れる事は亦一つの哀別に他ならぬのであるとて

暢適淸閑獨自憐。求知千古讀披傳。身如不繫之舟矣。雖測明朝去那邊。

との一絕を示さる又

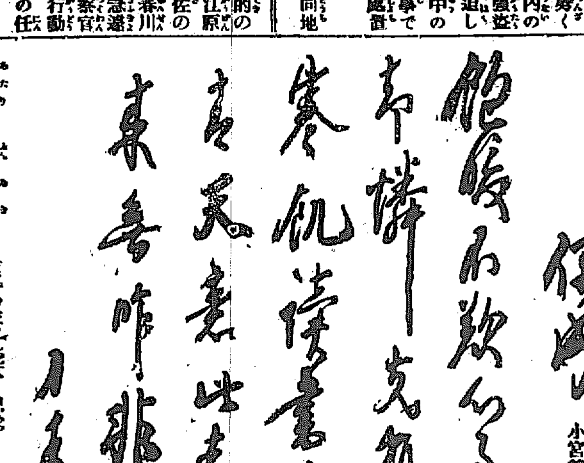
飽暖不興心事違。却憐先哲動寒飢。讀書自解齊天意。此老由來無昨非。

我輩の安心立命は此邊に在りだ常に愛讀する邵康節の詩中より得來つたものだと

呵々大笑しつゝ翁が

十年の蹟を顧みて會心の笑を洩した　吾社の無佛居士は其韻を次で曰く

寒否從容時不違。琴書餘樂苑如飢。風神活躍者中現。此老由來無昨非。



小宮錦鷄間祇候の書

◉古海總長
雙眼鏡を手にして曉明春川市街の警戒を觀察す
兇徒六名襲來せりとの想定

江原道各隊署巡閲の爲め古海警務總長は中野警務官、大橋高級副官、宗本主計正、國友警視、三浦中尉以下司令部總監部勤務の憲兵下士、警部等十一名の隨員と共に客臘二十四日春川に到着した、巡閲に關する一般成績は卽座に

■總長より講評　せられたるものもあり歸臨の上文書で發表された部分もあつた、其の巡閲中鳳儀山下の春川邑內で活劇の一條が開演された、夫れは十二月の二十五日の未明まだ薄暗い午前六時といふ時刻であつた、折柄朔北の風烈は肌を劈く氷點下十數度なるに倒春川邑內の某大家に覆面した六名の持兇器强盜が侵入し兇器を示して家人を脅迫し同家の倉庫を破壞して今や金庫中の有金を强奪しつゝありといふ椿事である、此の勃發した一大事件の處置に就いて

■古海總長統裁　の下に同地の警察官憲へ命令が一下された‖犯人の搜索及び逮捕といふ假設的の非常演習であつた、定刻と共に江原道警務部へは中野課長、大橋少佐の兩氏春川警察署へは國友警視、春川憲兵分隊へは三浦中尉の諸氏が急遽出動して同地各隊署詰の憲兵警察官の活動狀態非常警戒に對する行動等一切の成績を詳細に監視するの任を帶びた、而して

■其他の隨員は　各要所〳〵に配置されて活躍中の憲兵警察官の參考材料或は搜索に對する情報を齎すといふ配役となつて一般人民に對しては更に迷惑を掛けぬ爲め誰何訊問せねといふ方略の下に開始せられた、先づ其急報と共に春川警察署に於ては直ちに宿直員を現場に急派して著手し一方急報に接した警察官は正服著用直ちに非常線を張つて犯人に對する相當の處置をなし春川分派では春川署の

■應援隊として　是れ又其れ〳〵の部所に著いた憲兵隊本部及び警務部では兩隊署と連絡を執つて同樣非常警戒に著手するといふ總活動が靜謐なる春川の天地を動搖せしめたかくて各隊署員は何れも折柄の寒氣を衝いて意氣軒昂、活氣橫溢の姿に東奔西走、佩劍戛々の早忙的活動は未だ夢圓かなる春川市中の靜けさを激しい靴音に踏み破つて

■四邊の零圍氣　は頗る緊張した、斯くて最も迅速な警官は下命後十分間で到著し藤谷警務部長も僅か十七分間で警務部へ出動した程で其他の隊署員既に其以前に悉く到著してゐたのは當然である、扨て一般の非常手配及び搜索方法は秘密に屬するから公表が不可能であるが各隊署員は全力を傾倒して夫れ〳〵の要所に就いて烱眼を輝かしつゝ臨急處置を執行し一方看視官の方でも詳密

■細心なる觀察　を以て諸員の活動成績を監督した、尚統裁官古海總長は遙くも正服著用の上一段高き家の樓上に佇立し寒風に曝されながら双眼鏡を手にして市中を驅け廻り走せ交ふ各隊署員の活動狀況を親しく俯瞰し櫛の齒を引くが如き刻々の情報を悉く聽取しつゝあつた、遠近で鳴り響く警笛の音も勇ましく黑服と褐色の入り亂て走せ交ふ姿を

■打眺めてゐる　と忽然急報に曰く賊の一團は遙くも現場から逃亡して行衞不明となつた——といふ一事である、遺恨なり長蛇を逸すは——と一層の活躍を見せた搜索隊は愈々非常線を嚴戒し蟻一匹漏さじの働きに一旦逃亡したる賊は遂に非常線の網にかゝり事件勃發後四十五分で春川邑外の新延江（漢江の上流）の渡船場で悉く逮捕された（非常警戒より觀たる斷定）一同は快心の活動裡に

■警務部へ引揚　げた而して活劇の開始されてから一切の顚末を纏めたのは一時間十五分の短時間後であつた參加の隊署員一同は藤谷警務部長以下一同警務部に整列し總長より人員及び服裝の點檢があつた後隨行員中野保安課長以下參列の上古海總長より一場の訓示と講評とがあつた、一般參加員の非常警戒に對する手段と細密なる注意とは頗る好成績を示し唯動作上に就いて些少の

■注意があつた　のみで午前八時頃無事終了した、此の演習に對して總長に詩あり曰く

平明傳警署門開。春花秋月且銜杯。石火應變尋常外。朝影劍光入去來。

●鐵道倉庫損害　一月十二日京義線黄州驛倉庫より發火して同建物を燒失したることは既報せしが其の損害は倉庫一棟（二十四坪）約五百圓、近接一棟（三坪）約五十圓木炭石炭

春場所
（十六日午後九時着東京支局特電）

▼五日目
西軍甚だ振はず

十六日の五日目は引續き盛況にて五時廿五分打ち出したり當日の勝負及び六日目の取組左の如し

（勝　負　勝　負）

男山（より）四國洋　國ケ岩（やぶし）神錦
大貫（つきだし）緋縅　三杉磯（こてなげ）玉柳
大の里（つきだし）荒王　朝緑（こてなげ）玉の川
明（つきだし）敷島　土州山（つきだし）龍ケ崎
千葉崎（かけ）常の花
釋迦嶽（つきだし）鳴門洋　紅葉川（つきだし）紫雲龍
大鳴門（つりだし）梅川
九州山（おし）大響
栃木山（きり）千年川
大戸平（うはてなげ）逆鉾
浦の濱（休）西の海
鳳（こてなげ）兩國

中入後

宮城山（つりだし）琴ケ浦　源氏山（より）八甲山
石山（けかへし）大門岩
駒泉（はたき）眞砂石
小常陸（つきだし）玉手山
大錦（つりだし）黑瀨川
伊勢濱（はなし）宇都宮
太刀山（つきだし）岩木山

右の內▲藤の川に一港は右四ツ吊り出して藤の勝▲千葉崎に常の花はガツキと右四ツとなるや常楠投に行かんとするを外掛けに浴びせ倒して千葉の勝▲明に敷島は無雜作に突き出して明の勝▲土州山に龍ケ崎は是亦簡單に突き出して土州の勝▲鳴門洋に釋迦ケ嶽は左四ツ鳴門寄進むを釋迦よく殘して廻り込み鳴門が强引の掬ひ投を打たんとするを突き落して釋迦の勝▲紅葉川に紫雲龍は突き倒して紅葉の勝▲大鳴門に梅川は梅暫らく二本差し吊身に寄り進むを鳴門兩上手を引きつゝ土俵際に廻り反對に吊り出して勝

▲大響に九州山　は九州左を當て丶押進むを響その左手を把つてトツタリを打ちそのまゝ吊り出さんとするを九州殘して廻り込み左を差し右を當て丶押切り九州の勝▲千年川に栃木山は右筈一氣に寄り切つて栃木の勝

▲大戸平に逆鉾　逆鋭く追ひ立て腮を攻めて押進むを大戸殘しつゝ左四ツに渡り逆の頗つて寄り切らんとするを廻り込みつゝ上手投を打つて勝▲浦の濱に西の海は休

▲鳳に兩國　は双方の呼吸合はずして立上りに手間取りしがやがて鳳より引掛けるを兩待つたの如かりしがそのまゝ立ち上がつて左を差し寄り進みたれば鳳押されながら右手にその差手を巻いて小手投を打ち鳳の勝にて中入

▲中入後▲琴ケ浦に宮城山は右四ツ琴上手投げを打たんとするを拔き上げて宮城の勝▲八甲山に源氏山は二本差寄り切つて源氏の勝▲石山に大門岩は石右を差して寄り進み大門が小手投を打たんとするを切返して石の勝

▲眞砂石に駒泉　は突き張つては叩き合ひ再三眞砂よく殘したるも遂ひに叩き込み極まつて駒の勝

▲玉手山に小常陸　は烈しく突き合ひ再三叩きしが利かず遂ひに突き出して小常の勝

▲黑瀨川に大錦　は突き合ひ黑瀨イナシて錦に空を打たし押切らんとするを錦殘して左四ツとなるや櫓に吊り出して錦の勝

▲伊勢濱に宇都宮　は伊勢右を差して左手に宇都の右手を押へつけて左足に寄り進み宇都土俵際にて殘さんとするを突き放して伊勢の勝▲太刀山に岩木山は岩木飛び込んで太刀の左腕押を取り揺れかゝつて押切らんとするを太刀逆さに捻り殘ろを押倒して太刀山の勝にて打出し五時二十五分

六日目の好取組
浦の濱に九州山

大戸平に兩國

太刀山に栃木山

▼六日目の取組

常の花・大の里・宮城山・駒泉
花の山・鳴門洋・大鳴門・石山
岩木山・小常陸・一港・宇都宮
大纒・敷島・眞砂石・千年川
梅川・釋迦嶽・大錦
黑瀨川・玉手山・伊勢濱
栃木山
太刀山

中入後

龍ケ崎・逆鉾・紫雲龍・大門岩
琴ケ浦・千葉崎・土州山・紅葉川
九州山・兩國・源氏山
浦の濱・大戸平・鳳

本社豫想懸賞中のものにして兩國の後援、大戸の沈毅、共に相俟つて大戸平は

▲西の海休場

西の海は足を痛めたりとて五日目より休場を申し出でたり

撲巧者の名あり惜し當日の好取組として興味を惹きべし

●國技館大相撲春場所成績表
（表中○勝●負△預×分）

東の方

力士	一	二	三	四	五
鳳	○	○	○	○	○
伊勢濱	○	○	●	○	×
太刀山	○	○	○	○	○
朝潮	休	休	休	休	●
大戸平	○	●	●	●	○
玉手山	●	●	●	●	●
黑瀨川	●	○	●	○	○
眞砂石	●	○	●	○	●
大纒	●	●	●	○	●
鶴渡	休	休	休	休	●
石山	○	●	●	●	●
浦の濱	休	●	○	△	●
千年川	●	●	●	●	○
大鳴門	○	○	休	△	●
紅葉川	○	○	○	●	○
土州山	○	休	●	●	○
敷島	●	○	●	○	●
若島	や	休	●	●	△
柏戸	や	休	休	休	○
千葉崎	○	○	○	○	○
琴ケ浦	●	●	●	●	●
鳴戸洋	●	○	●	○	●
八甲山	●	●	○	○	○

勝星四十五　負星四十九

西の方

力士	一	二	三	四	五
對馬洋	や	休	休	●	●
西の海	や	●	○	●	○
大錦	○	○	○	○	○
栃木山	○	○	休	○	○
兩國	●	○	●	○	○
九州山	○	○	○	○	○
宇都宮	●	●	●	△	●
小常陸	○	休	○	●	●
綾川	や	休	休	休	×
源氏山	○	●	○	休	●
君ケ濱	や	休	○	○	●
岩木山	●	○	●	○	●
梅川	●	●	●	○	●
釋迦嶽	○	○	●	●	●
宮城山	○	○	●	○	○
逆鉾	●	○	○	○	○
近江灘	や	休	休	休	休
紫雲龍	●	●	●	○	○
一港	●	○	○	●	●
駒泉	○	○	●	○	○
四海波	や	休	休	休	休
大門岩	●	●	○	△	休
龍ケ崎	●	●	●	●	△

勝星四十五　負星四十二

●顚覆飛行機將校は山村中尉　昨夕刊二面所載『海軍飛行機の顚覆』中操縱將校今村中尉とあるは海軍中尉山村登雄氏の誤報に付訂正す

えんげい

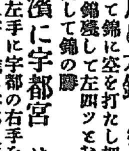
▲壽座　中村新駒一座十七日よりの替り藝題は前源平布引瀧、中双蝶引窓、切鈴ケ森朝鳥の場にて、お染譯六早替りにて演ずる由

▲浪花館　東京御派落語家門助六一座にて開演中

▲稻荷座　浪花節竹川馬生一行にて開演中

▲大正館　活劇夜の世界、喜劇笑論心中、滑稽活劇周成敗、新派悲劇返り咲き等

さわうのさわう



▲昨秋兒玉伯の送別宴に森安博士が蕎麥をパクついてゐるところを寫眞に撮つて▲その傍に『蕎麥の香や國手の顏に秋はるゝ』とかき送つた人がある▲これを受取た崖城博士すつかり寫眞の手際とそばの香に感心して了ひ何處の天狗の挑戰ぶりかと頻りに手を廻したが更に解らぬ▲その後殘念ながら犯人行衞不明で大正五年も暮れ相になつた或日のこと、ふと城覆審法院長が博士の肩をたゝいてのはなしに▲先日の寫眞モウ好い加減に御返禮あつて然るべし、尤も年越しの利子となれば御相談にも應じませう……』との御挨拶▲さては城法院長であつたかと驚いたが博士も去るもの元金は愚か利子さへ更に拂はうとせぬ▲然るに明けて四日の官報に敍高等官一等のよろこびに輝いた法院長のもとには恭しく奉書にかいた一句に曰く『福壽草さくや外は零下廿度』▲法院長ぬからず更に酬ゐて曰く『三寒四溫色だけは春の福壽草』と……ヤレ〳〵これでやう〳〵年越しの懸案が解決した

油斷大敵
風邪は萬病の本

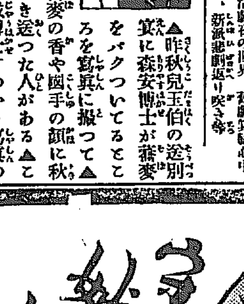
日に增し寒さ激しきけふ此頃

▲ゾツト寒けする時
▲氣分惡しく頭痛する時
▲頭重く發熱する時
▲手足腰の冷込む時
▲咳嗽の出た時

何となく風邪の氣持する時は何を措いても

風邪溫め藥　守妙（守田の妙振出し）を今スグ召上れ

かぜ　冷へ込には　守妙



守妙は風邪、熱をさまし、痰咳を治し、全身をあたゝめ、婦人の冷込より來る諸症に

意外の大効あり

躊躇なさらず、一刻も早く今スグお試しあれ

◉注意　風邪溫め藥として妙振出しの右に出る者無しと古今を通じて今尙信用益々高き所以は近來行はるゝ丸藥、散藥なる風邪、熱さましに〳〵彼の恐るべき副作用に惱ませ往々危險を起すと雖も之に反し振出し藥は其効能溫和にして危險更になし是れ妙振出しの一大特長なり

定價（試用一貼金五錢　二貼金拾錢　德用包六貼金廿五錢　十三貼金五十錢　廿八貼金壹圓　六十貼金二圓）

東京上野池之端仲町二十七號地　發賣本舖　十二世　守田治兵衞　振替東京二九八五番

（全國有名藥店にて販賣す）

購買
龍山陸軍倉庫
玄米、精米、藁
詳細ハ一月十六日以降朝鮮官報ニアリ

門鑑紛失廣告
一步兵第二十八聯隊門鑑第六十四號
一砲兵第二十五聯隊第六中隊門鑑第十三號
右大正六年一月九日午後五時ヨリ午後八時迄ノ間ニ於テ自宅ニテ紛失致候ニ付此段廣告候也
京城府龍山榮町　大草鶴之進

再診療開始
昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ケ月間再び診療を開始す
痔、痔核。痔瘻。脫肛
直腸脫。痔出血。裂痔
京城長谷川町安東病院（電七三）內出張
肛門病注射專門
最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

朝鮮鑛業要覽
一部定價一圓廿錢
附圖　朝鮮地質鑛產圖
京城日報社代理部、大阪屋號書店

最新刊
●當世百道樂　堺內新泉　一、二〇
●大正六年用日本紳士錄　交詢社　五、〇〇
●民事訴訟法判決實例　岩松堂　三、〇〇
●世界の產牛　井口野三　三、〇〇
●新書道之研究　上下　木村鼎石　各八五
●吾國民教育の革新　岩瀨仲太　一、五〇
●日本帝國國勢一斑　第卅五回　一、一〇
●比律賓跋涉土產　元作　二、〇〇
●大山元帥　西村文則　一、二〇
●食物化學　澤村眞　一、八〇
●通俗土壤學講義　船津常吉　一、〇〇
●通俗綠肥大全　矢崎玄八　一、八〇
●青年活路勇氣の修養　田中、杉山　七〇
●新モンロオ主義　[illegible]　一、〇〇
●新劇豐臣秀吉前編　[illegible]　一、八〇
●新劇萬葉集　木下杢太郎　九〇
●新劇平家物語　岡　九〇
●新撰日本書畫名家年表　矢野幸六　二、二五
●大正五人男　村上浪六　一、〇〇
●女のくせに　中平文子　五〇
●小說須磨の家　渡邊默禪　五〇
●ペン數字練習帖　大坂屋號編　一〇

京城本町二丁目　電話二〇八六番、振替京城二五七三番
大阪屋號書店

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓（一行二十字詰）
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戾せず

普通
●寫眞修整技師一名募集　希望者見本送れ　安東縣營京寫眞館　43

番外
●京城本町二丁目四十五番地山田醫院下に移轉　京城尿試驗所　高木獸病院　京城狂犬病豫防注射所　55

●礦物定量分析　太平町二丁目　朝鮮公論社　坂元分析所　電話長二三四四　38

●讓　本町目拔の場所有名老舖商品全部居拔のまゝ大至急讓渡す　希望の方は左記へ御來談あれ　京城明治町　周旋業　萬年社　電一八四四　54

●（一）代診（二）看護婦　各二名至急募集す　履歷書持參の事　內科外科花柳病其他一般　實費診療病院　黄金町二丁目八五　電二八三七番　56

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

五十一

死神「十二」の一

月もなく、星もなかつた。庭の神の翼をひろげたやうな眞黑な松の大枝が、土手の上から逆筋斗でも打つたやうに、お濠の水を蔽つて居た。櫻は枯れて、梢は針の如くに痩せ、柳はそゝくれて、狂女の髪のやうに風に動いた。甲武線飯田町驛から發車した夜行列車が、今の先刻方、消魂しい叫びを殘して、通り過ぎて了つた跡は、蒼い燐の火のやうなシグナルの光が、突如として血のやうな紅の光に變つた。察するに、今度は上りの列車が、間近く進んで來ると言ふ報知なのであらう。向河岸の牛込寄の外濠線には、車庫へ急ぐ終電車が、轟々と雷のやうな音を立てゝ走つて居る。白晝でさへも、餘り人の足多くない此の邊りは、冬の夜の十二時間近い今となつては、もう徒歩で往來ひする人などは、殆んど數へるほどであつた。

寒い。更けゆく夜と共に、氣候は可なり寒いのにも拘はらず、外套も襟巻も爲ないで、ぶるぶると顫へながら、今し左内坂下の闇を辿り來つて、市ケ谷見附の橋をば、麹町の方へ渡りかけた一個の老人がある。眠さうに瞬き爲て居る停車場の灯影を熟と眺めて、老人は、稍少時橋の眞中程に立ち縮んだ儘であつたが、背後の方から巡査の靴音が、こつこつと聞ねたので、はつと氣付いたやうに、顔を振動かして、小走りに橋を渡つて了つた。そして、廣い新開の大通りを横に見過して、故意に眞暗な狹い土手際の闇へと外れたのであるが、それが宛然大なる恐怖と不安とに襲はれて、五尺の身體の置場なき儘に、悶ね悶ねて逃げ廻つて居るやうな恰好にも見られたのである。何處かの屋敷内で、盛んに犬が吠ね出した。それが稍鎭つたかと思ふと、停車場の裏手の松の木の邊りで氣味のわるい闇夜鴉が、三聲ほど啼いた。つゞいて、凄まじい汽笛の響きが、世界中の人の眠りを覺さずには置かぬとやうな恐ろしい勢ひで驅りわたつた。上りの汽車が、恐らく目と鼻の四谷驛へ著いた報知でがなあらうと思ふ。

土手の中腹に刈り殘された枯草の根に縋り縋つて、半分は轉げるやうに爲ながら、漸くに今、深際の低い鐵道線路の側へ降り立つたらしい黑い人影は、正しく異の老人であつた。

闇とは云へど、向河岸からの電氣の灯影は、幽かながらも、老人の黑い影を、冷たい氷のやうな軌鐵にも映つて、其處に何とも云へぬ深酷さが蟠まつて居た。その軌道の上には深山の死神の群が、亡者を待つ間に、氷滑でもやつて居るやうに思つた。

「組代、カツ、勘忍して呉れ。俺がわるかつたんだ。人は知るまいが、德川家代々の旗本の家に生れて、苟にも武士の血を受け繼いで來ながら只ツた一人ほかない娘を……許婚まであるお前を……無理無體に操を破らせ、その金を貧つて、榮華安樂の夢を見やうと爲た俺の心の淺猿しさ腑甲斐なさは、犬にも猫にも劣つた話だ。本人のお前に濟まねばかりでなく、倉橋の母子に濟まない。倉橋家から嫁に來て、お前を生んで呉れた初代に濟まない。先祖代々のお位牌に濟まない。俺が今、此處で死んだとて、それで一切の罪が消滅するでもあるまいが、切めてもの詫の印にはなるであらう。總十郎の行ひは人非人であつたが、その心にはまだ幾分か武士氣質の正直な所も貽つて居たと、倉橋のお袋位は、後から涙の一滴も手向けて呉れるであらう。組代、なう娘、俺は今、此處で死ぬんだ。死なぬ先に餘所ながらなりとも、お前の顔を一目見たいのは山々だが、お久と云ふ心の黑い邪魔物があつては、とてもとてもそんな事は、思ひも付かぬ願ひだ。組代、俺は死ぬ。何とかして、約束通りの縁を結んで、鬢び鍋燒飩を賣つてゞも一生涯を人間らしく暮して呉れ。組代……俺は死ぬのだ。俺は今此の線路の錆に……。』

血に嗁くやうな聲で佛の御名を三遍ばかりも唱へたかと思ふと、轟々たる列車の響きは、既に耳元に迫りて來つて、小さな隧道を脱け出すと同時に、更に一層消魂しい汽笛の音は夜の空をも突き破らんばかりに凄まじく聞ねた。

院長 醫學士 森定吉
内科 小兒科
京城本町三丁目 瓦斯會社前向側 芙蓉醫院 電話二六三番

◎紙 鐵より堅く 綿火藥より恐ろし

清浦子爵會頭たる帝國發明協會では目下和紙新利用法を二千一百圓の懸賞で募集しつゝあるが其内容は未だ絶對秘密なれば記す譯にも行かぬが一體

◆紙の新利用法 と云ふのは如何なる方面であるか同協會事務所某氏の談に依れば鳥ノ子、檀紙、薄葉、奉書、小菊、程村、西ノ内、障子紙、糊入、仙花、天具帖、吉野紙等日本紙にも種類は數々あるが從來は文書、繪畫、襖障子、包紙、元結、水引、傘、扇、團扇、造花、油紙、澁紙、敷物等に主として用ひられ更にナプキン、襖田、レーザー、水嚢、空氣枕、絲製漆器、パナマ帽等を製るに利用されてゐるが紙の利用は到底そんな狹い範圍に限らる可き筈のものではない外國では既に

◆建築に應用ずる事を考へ鋼鐵の天井を紙で代用し紙製の大理石も佛國ルーブル宮殿の修繕に用ゐられてゐる更に米國では自轉車自動車のタイヤを紙で製り獨逸では今回の大戰に紙製背嚢を用ひてゐるのみならず綿火藥の代りに紙火藥を專ら使用してゐる即ち紙も利用法の如何に依つては鐵石よりも堅牢となり護謨よりも強靱となり綿火藥よりも恐るべき物となる而も

◆重量の輕少なる點は到底他の及ぶ所ではないので木材、鐵材の代りに紙材を以て船艦を建造するに至らば如何程吃水量が減殺されるか想像に餘りある

◎京城醫學診療醫院 今回京城南大門内に正面救世藥舖内に開業し診察無料施療費實費にて一般の治療に從事す尚ほ本月二十日より五日間診察投藥共に外來患者に限り施療する由

水原華城會俳句(第二十七回)

秀評 東京 共角堂被一宗匠選

佳作七印

海手里澁滯まりて初日かな　宙外
白妙の富士も霽とし初日の出　知足
初夢の希望にあまる笑顔哉　鶴骨
初夢や鼠喘する小傾城　知足
身輕さや今日の手拭の出初哉　如瓢
替蛹や勇む出初の勢揃ひ　一山
物々し火事の名所の出初式　五鴨
文盲もしはしかるたの相手哉　宙外
歌かるた小娘の手の早さかな　華圃
此きさ同士が向合ふかるた哉　如瓢
福壽草ほころぬ色を蟄れかな　燕雨
寶物と並べておくや福壽草　如竹

再考十印

東海やうらうらのほる初日影　如瓢
初夢の二つ目出度朝寢哉　五鴨
拵額のうれた男や出初哉　如竹
負ぬ氣のよくも揃ひし出初哉　知足
文臺の上に雅致あり福壽草　五鴨

三光

人 初日影沿き大和島根哉　五鴨
地 初夢やよきしのばかり見た嫡　燕雨
天 茶も菓子も片よせらゝ骨牌戯　如竹

軸

歌かるた月雪華は取とけれ　校一

新刊紹介

▲藝術叢誌(新年號) 傳藤原信實筆歌仙像文五郎筆春林觀音圖長澤蘆雪筆吳春筆等の名品を揭げ其他池大雅筆の山水及び狩野派の傑作等(三十五錢東京市神田區通新石町三東陽堂)

▲東亞之光(新年號) 歐洲大戰と其結果『井上博士』戰後日本の最大急務『菊地博士』戰後の本邦教育『吉田博士』國運の展と戰後の宗教問題『加藤博士』戰後に於ける思想家の任務『井上博士』戰後日本の革新『吉本博士』等の戰後諸問題に關するものを初め理想國『紀平文學士』國家人格論『大島文學士』文明の矛盾性『島本文學士』(三十五錢東京市神田區通新石町三東陽堂)

▲種苗目錄(大年號) 種苗五十錢東京小石川區町七六瀧野協會

▲國柱新聞(新年號) 八錢五厘東京市下谷區櫻木町一師子王文庫

▲家庭と趣味(新年號) 巳年に因める玩具の解說、子寶等趣味あるものを收む(二十錢東京市日本橋區本石町二の一五家庭俱樂部)

▲タノシミ(新年號) 相撲界無駄話劇畫の見たる藝者と勝者力士艶話等の肩の凝らぬ讀物に幾多の滑稽なる挿畫を配したり(十五錢東京市京橋區南鍛冶町一七文藝社)

▲正則中學講義錄(新年號) 中學第三學年程度にして普通學科十四、目に就き平明丁寧に講義したれば通學の便なき者には好師たるべし(會費月五十錢東京市神田區駿河臺袋町大日本國民中學會)

▲日本農業雜誌(新年號) 從に工業熱に染む勿れ『澤村博士』農學校長諸君に告ぐ『横井博士』內地肥料使用石灰の性質及び其改善法『三村博士』茶の代用品としての植物『朴人生』等(十五錢東京市赤坂區青山南町六の八三其社)

商況

大阪期米(十六日) [illegible]

正六十八錢と賣物多く十三圓丁度と押し九十九錢と依然保合の體に[illegible]

石⊕各二千餘石⊖各千餘石等に對し買方⊕五千餘石⊖各三千餘石⊖各二千餘石等[illegible]

[illegible]目を蔽いたりとの事[illegible]二千石の[illegible]ありたるも注[illegible]

十二圓九十錢の安値を示して後場十三圓〇一錢と踏み返しを見せたるは目先下げ止まりたるやに思はれるが果して如何[illegible]

[illegible]九錢八錢九錢⊖九十八錢九錢十九錢十三圓十二圓九十九錢十三圓十二圓九十九錢八錢九錢[illegible]

▲向動かず 大阪の小賣は入電に十三圓〇一錢と置付けたる[illegible]

▲⊖能く賣る [illegible]

▲⊕能く買ふ [illegible]

▲現物界 [illegible]

十六日の三月限 一月限 二萬石 三月限 七萬四千九百石

時雨に染ます 霜雪にも 常盤變らぬ松の如く

持藥として怠りなく 召す御婦人は

婦人良藥 中將湯

如何程酷しい寒さも 身體に障らず 冬中無病息災

主効

⊕子宮病子宮內膜炎にて白帶多く前糜れ又下腹腰足の引つり痛む人
⊕婦人神經(ヒステリー)血道にて氣鬱癇高ぶり物を苦にし夜眠れず
⊕月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
⊕逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え⊕息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
⊕十七八歳になりて月經なく血ぶとり又た月經の前後に下腹痛む人
⊕白帶赤帶帶下多く顏色蒼白き人⊕冷症にして難産流産の癖ある人
⊕産前何となく常ならざる人⊕嘔吐産後古血の滯り、或は日立惡しく
⊖此他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶらぶらと惡しき人

定價 二日分 十錢 / 四日分 二十錢 / 一週分 三十五錢 / 二週分 六十錢 / 三週分 一圓 / 五週分 一圓六十錢 / 十週分 二圓四十錢 / 廿週分 四圓五十錢 / 四十週分 八圓

▲加減藥あり容態詳しく御申込あれ 一週分 七十五錢 四週分 二圓五十錢

婦人衛生手引 御申込次第無代進呈(但要郵券二錢)

本舖 東京日本橋通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六十二番六十三番 振替口座六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南二十五番 振替口座四五六番

中將湯は世界到處の藥店にあり市內配達無料

朝鮮總督府許可

内用 精能 効 神經衰弱、神經痛、胸病、痔病、子宮病、營養不良病より起る諸病の滋養強壯劑なり

外用 精能 効 神經痛、僂麻質斯、切傷、火傷、凍傷、腫物、打物、肩の凝、蟲に螫れた時、筋の張れ等によし

定價 [illegible]

人參直取引大販賣所 人參エキス 滋養藥 朝鮮名産 一切 京城本町二丁目 製造本舖 津村兄弟商會 電話 [illegible] 振替京城 [illegible]

支店 龍山元町二丁目 龍山支店 京釜線大邱驛前 大邱支店 朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 釜山支店

其他全道の藥舖に販賣致居候萬一藥舖に無之御地方の方は直接本舖に御注文次第迅速に發送可仕候代金は振替に依る事が最も安全且つ御便利に候 本店支店共市內は御一報次第配達

亡妻敏子葬儀の節は遠路御會葬被成下難有奉鳴謝候乍略儀以紙上御禮申上候 敬具 一月十七日 山邊勇輔

大邱浦項間自動車時間

上り 一番 二番：浦項發 前六、三〇 後一、〇〇 / 安康同 七、二〇 一、五〇 / 慶州同 八、三〇 三、〇〇 / 阿火同 九、〇〇 三、三〇 / 永川同 九、五〇 四、三〇 / 河陽同 一〇、三〇 五、〇〇 / 大邱着 一二、〇〇 六、三〇

下り 一番 二番：大邱發 前六、三〇 後一、〇〇 / 河陽同 七、四五 二、一五 / 永川同 八、三五 三、〇〇 / 阿火同 九、一五 三、四〇 / 慶州同 一〇、〇〇 四、三〇 / 安康同 一一、三〇 五、五〇 / 浦項着 一二、三〇 六、三〇

浦項七時 電話十番 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番

金泉醴泉間自動車時間

上り 一番 二番：金泉發 前八、〇〇 後一、三〇 / 龍宮發 / 成昌著 / 醴泉發 / 尙州發 … [illegible]

下り 一番 二番：金泉發 前八、〇〇 後三、〇〇 / 尙州著 / 成昌發 / 龍宮發 / 醴泉著 … [illegible]

▲小荷物運搬仕り候 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番

汽船釜山出帆廣告

○○門司、神戶、大阪行 立神丸 月 日後五時出帆 / 小倉丸 月 日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 小倉丸 月 日後十時出帆 / 立神丸 月 日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三琴平丸 月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 每月二日八日十四日廿日廿六日(午後十時出帆)
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬船航路連絡の時は五分引を以て取扱可申候

○群山、木浦、釜山、門司、大阪行 ×濟州丸 一月廿一日 / ×天智丸 一月廿五日後五時出帆 / ×安東丸 一月廿七日
◎神戶大阪行 大信丸 一月十七日正午出帆
○木浦、釜山、嚴原、魏の浦、長崎行 ×信濃川丸 一月十九日正午出帆 / ×信濃川丸 二月三日後二時出帆
○群山、釜山、鎭海行 △海州丸 一月十七日後二時出帆 / △福州丸
○大連行 ×信濃川丸 一月十六日正午出帆 / ×信濃川丸 一月三十日正午出帆
○大連直行 臺東丸 二月五日正午出帆
○鎭南浦、仁城律西湖津行 印丸 一月三日後十時出帆 / ▲安平丸 二月二十日 / ▲宮島丸
○木浦、釜山、鎭西、長崎行 大智丸 一月 / 天智丸 一月 日正十二時出
○上海、芝罘、打狗行(大連出帆) 湖北丸 二月八日前六時出帆 / 基隆丸 一月廿六日後四時出帆

御注意 ●御乘船切符發賣所は出帆前一時間限り△印は當時發賣仕候●×印は本船に於ても發賣可致候 ●〆印は一等船切符發賣所

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二二五〇番 內鮮通運會社支店 電話七〇八番

●京城切符發賣所 ●中國四國沿岸各船客に限り一割引を以て連絡切符發賣仕候

仁川代理店 本町四丁目 電話一七三番 野口商會
元山代理店 田口回漕部 榮日町
京城取次店 南大門 電話二八〇〇番 河村運送店

阿波共同汽船仁川出帆

第二共同丸 芝罘、大連行 一月十九日正午出帆(入港) 一月廿一日
大連にて通しに積替朝鮮各地連絡にて船客荷物取扱仕候 尙北航行定期船接續船客共乘船差と同

阿波共同汽船株式會社

朝鮮郵船出帆

○○○○群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 大有丸 一月 日後四時出帆 / 秀吉丸 一月 日後四時出帆 / 君が代丸 一月十六日後四時出帆 / 神代丸 一月 日後四時出帆
仁川海岸通三丁目 電話五十九番 杉岡回漕部

○○○○全羅丸 京畿丸 黃海丸 成鏡丸 門司より釜山各地寄港 一月廿三日 釜山發
○○○平安丸 平城丸 昌城丸 鎭江丸 一月十七日 元山發
○昌平丸 元山より各地寄港 一月十六日 元山發
○善德丸 甘浦、長鬐、浦項、各地寄港 一月 日 釜山發
○江陵丸 每日 釜山發
○三浦丸 長承浦、巨文島 一月十六日 釜山發
○統營丸 ○巨濟丸 ○慶寶丸 每日 釜山發
○順天丸 三日目毎に木浦發
○慶興丸 一月十六日 木浦發
○慶興丸 一月 日 木浦發
○公州丸 一月 日 木浦發
○濟州丸 一月 日 仁川發
○江原丸 一月十八日 仁川發
○麗水丸 ○晉州丸 一月十八日 仁川發
○全州丸 ○錦江丸 每日午前 仁川發

本社京城南大門通 電話一九五二番 京城府內販賣店 松原運送店